震災・復興10年　進もう！次の東北へ

記者発表資料

令和３年度
東北地方整備局の予算概要

令和３年３月３０日
東 北 地 方 整 備 局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、
岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　　TEL　022-225-2171（代）

総　　括	企画部　企画課長	神宮（じんぐう）　正一（しょういち）	（内線 3151）
都市・住宅関係	建政部　都市・住宅整備課長	柳田（やなぎた）　穣（ゆたか）	（内線 6161）
河　川　関　係	河川部　河川計画課長	栗原（くりはら）　太郎（たろう）	（内線 3611）
道　路　関　係	道路部　道路計画第一課長	田中（たなか）　洋介（ようすけ）	（内線 4211）
港湾空港関係	港湾空港部　港湾計画課長	渡部（わたなべ）　秀幸（ひでゆき）	（内線 6314）
営　繕　関　係	営繕部　計画課長	神鳥（かんどり）　博俊（ひろとし）	（内線 5151）
会　計　関　係	総務部　会計課長	蓮沼（はすぬま）　忍（しのぶ）	（内線 2411）

目　　次

１．令和３年度の取り組みのポイント　・・・・・・・・・・Ｐ１

２．東北地方整備局関係　令和３年度予算総括表・・・・・Ｐ２

３．令和３年度の取り組みのポイント（事例）　・・・・・Ｐ７

資料－１　東日本大震災からの復興・再生を支えるインフラ整備

資料－２　「３．１１伝承ロード」の形成を推進

資料－３　大規模自然災害からの復旧・復興

資料－４　防災・減災、国土強靱化の推進

資料－５　産業の競争力強化、多核連携型国づくりへの転換に向けたインフラ整備

資料－６　官民連携による渋滞対策の推進

資料－７　「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」

４．令和３年度の道路調査の見通しについて　・・・・・Ｐ１６

５．令和３年度新規事業化箇所　・・・・・・・・・・・・Ｐ１８

６．令和３年度完成・開通予定箇所　・・・・・・・・・・Ｐ５０

別　冊　：　資料編（主要継続事業箇所）

位置図の出典：地理院地図に事業箇所等を追記して掲載

１．令和3年度の取り組みのポイント

令和3年度国土交通省予算では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり」を3本柱として、令和2年度第3次補正予算と合わせて、必要な予算が計上されたところです。

東北地方整備局の令和3年度の取り組みのポイントは下記のとおりです。

○ 東日本大震災からの復興・再生を支えるインフラ整備と復興の象徴となる国営追悼・祈念施設の整備を着実に推進します。
また、東日本大震災の実情や教訓を伝えるための震災伝承に積極的に取り組むとともに、「３．１１伝承ロード」の形成を推進します。

（資料－１、２）

○ 令和元年東日本台風（台風第１９号）及び令和２年７月豪雨等からの復旧・復興に向け、インフラの整備を着実に推進します。

（資料－３）

○ 気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、令和２年度第３次補正予算と合わせて、防災・減災、国土強靱化を推進します。

（資料－４）

○ 産業の競争力強化や多核連携型国づくりへの転換による地方の活性化に向け、道路ネットワークや港湾施設などのインフラ整備を戦略的かつ計画的に推進します。

（資料－５、６）

○ 東北地方における働き方改革と生産性向上、担い手の育成・確保を推進する「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の取り組みの浸透・定着化を図ります。

（資料－７）

2. 東北地方整備局関係
令和3年度予算総括表

（単位：億円）

	直轄 ＜令和2年度＞ ［　前年比　］	補助等 ＜令和2年度＞ ［　前年比　］	合計 ＜令和2年度＞ ［　前年比　］
一般会計	2,393 ＜　2,193　＞ ［　1.09　］	3,292 ＜　3,260　＞ ［　1.01　］	5,686 ＜　5,452　＞ ［　1.04　］
東日本大震災 復興特別会計	3 ＜　1,746　＞ ［　0.002　］	102 ＜　2,058　＞ ［　0.05　］	106 ＜　3,803　＞ ［　0.03　］
合　計	2,397 ＜　3,939　＞ ［　0.61　］	3,395 ＜　5,317　＞ ［　0.64　］	5,791 ＜　9,256　＞ ［　0.63　］

※ 工事諸費等は除く。

※ 令和2年度の一般会計は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を含まない。

※ 一般会計（直轄）には、東北地方整備局が実施する仙台空港の予算を含む。

※ 一般会計（補助等）には、地方公共団体が実施する空港の予算を含まない。

※ 上記のほか

国庫債務負担行為（ゼロ国債）として215億円

直轄（河川）の災害復旧費として34億円がある。

※ 端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

東北地方整備局関係　令和3年度予算

【一般会計】

【合　計】（直轄事業＋補助事業等）　　単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）	国庫債務負担行為（ゼロ国債）
治水	94,725	99,049	0.96	6,066
海岸	996	995	1.00	315
道路	212,693	205,622	1.03	14,632
港湾	11,701	6,237	1.88	200
空港	583	930	0.63	－
住宅対策	3,888	7,731	0.50	－
市街地整備	14,310	15,555	0.92	－
都市水環境整備	811	830	0.98	－
下水道	7,127	3,754	1.90	－
国営公園等	978	769	1.27	－
社会資本総合整備	217,848	202,023	1.08	－
官庁営繕	2,934	1,736	1.69	299
合計	568,595	545,230	1.04	21,512

【直轄事業】　　単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）	国庫債務負担行為（ゼロ国債）
治水	80,563	77,051	1.05	5,866
海岸	996	995	1.00	315
道路	141,345	131,565	1.07	14,632
港湾	11,137	5,401	2.06	200
空港	583	930	0.63	－
都市水環境整備	811	830	0.98	－
国営公園等	978	769	1.27	－
官庁営繕	2,934	1,736	1.69	299
合計	239,347	219,277	1.09	21,312

※工事諸費等は除く。
※令和2年度は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を含まない。
※直轄事業は、東北地方整備局が実施する仙台空港の予算を含む。
※上記の他、直轄（河川）の災害復旧費として3,428百万円がある。
※端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

【補助事業等】

単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）	国庫債務負担行為（ゼロ国債）
治水	14,163	21,998	0.64	200
道路	71,348	74,056	0.96	－
港湾	564	836	0.67	－
住宅対策	3,888	7,731	0.50	－
市街地整備	14,310	15,555	0.92	－
下水道	7,127	3,754	1.90	－
社会資本総合整備	217,848	202,023	1.08	－
合計	329,248	325,953	1.01	200

【補助事業等県別配分額】

単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）	国庫債務負担行為（ゼロ国債）
青森県	60,686	55,213	1.10	200
岩手県	46,200	53,057	0.87	－
宮城県	65,308	55,153	1.18	－
秋田県	46,530	55,439	0.84	－
山形県	44,002	47,167	0.93	－
福島県	66,521	59,924	1.11	－
合計	329,248	325,953	1.01	200

※令和2年度は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を含まない。
※補助事業等は、地方公共団体が実施する空港の予算を含まない。
※端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

＜参考＞

【一般会計】

【合　計】（直轄事業＋補助事業等）

単位：百万円

	令和3年度 (A)	令和2年度※ (B)	前年比 (A/B)	令和2年度第3次補正（歳出） (C)	合計 (D＝A＋C)	前年比 (D/B)
治水	94,725	121,969	0.78	46,477	141,202	1.16
海岸	996	1,085	0.92	250	1,246	1.15
道路	212,693	216,318	0.98	52,227	264,920	1.22
港湾	11,701	7,561	1.55	7,966	19,667	2.60
空港	583	930	0.63	－	583	0.63
住宅対策	3,888	7,731	0.50	－	3,888	0.50
市街地整備	14,310	15,555	0.92	170	14,480	0.93
都市水環境整備	811	830	0.98	－	811	0.98
下水道	7,127	3,754	1.90	246	7,374	1.96
国営公園等	978	769	1.27	250	1,228	1.60
社会資本総合整備	217,848	252,847	0.86	126,557	344,405	1.36
官庁営繕	2,934	1,736	1.69	213	3,147	1.81
合計	568,595	631,084	0.90	234,356	802,951	1.27

【直轄事業】

単位：百万円

	令和3年度 (A)	令和2年度※ (B)	前年比 (A/B)	令和2年度第3次補正（歳出） (C)	合計 (D＝A＋C)	前年比 (D/B)
治水	80,563	96,065	0.84	34,337	114,900	1.20
海岸	996	1,085	0.92	250	1,246	1.15
道路	141,345	142,261	0.99	18,497	159,842	1.12
港湾	11,137	6,725	1.66	7,606	18,743	2.79
空港	583	930	0.63	－	583	0.63
都市水環境整備	811	830	0.98	－	811	0.98
国営公園等	978	769	1.27	250	1,228	1.60
官庁営繕	2,934	1,736	1.69	213	3,147	1.81
合計	239,347	250,401	0.96	61,153	300,500	1.20

【補助事業等】

単位：百万円

	令和3年度 (A)	令和2年度※ (B)	前年比 (A/B)	令和2年度第3次補正（歳出） (C)	合計 (D＝A＋C)	前年比 (D/B)
治水	14,163	25,904	0.55	12,140	26,303	1.02
道路	71,348	74,056	0.96	33,730	105,078	1.42
港湾	564	836	0.67	360	924	1.11
住宅対策	3,888	7,731	0.50	－	3,888	0.50
市街地整備	14,310	15,555	0.92	170	14,480	0.93
下水道	7,127	3,754	1.90	246	7,374	1.96
社会資本総合整備	217,848	252,847	0.86	126,557	344,405	1.36
合計	329,248	380,683	0.86	173,203	502,451	1.32

※令和2年度は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を含む。

東北地方整備局関係　令和3年度予算

【東日本大震災復興特別会計】

【合　計】（直轄事業＋補助事業等）　　単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）
治水	－	1,257	－
道路	－	167,311	－
港湾	－	8,927	－
国営公園等	315	1,429	0.22
社会資本総合整備	10,236	201,402	0.05
合計	10,551	380,325	0.03

【直轄事業】　　単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）
治水	－	1,257	－
道路	－	163,941	－
港湾整備	－	7,947	－
国営公園等	315	1,429	0.22
合計	315	174,574	0.002

【補助事業等】　　単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）
道路	－	3,370	－
港湾	－	980	－
社会資本総合整備	10,236	201,402	0.05
合計	10,236	205,752	0.05

【補助事業等県別配分額】　　単位：百万円

	令和3年度（A）	令和2年度（B）	前年比（A/B）
青森県	－	6,978	－
岩手県	－	39,550	－
宮城県	－	41,042	－
福島県	10,236	118,181	0.09
合計	10,236	205,752	0.05

※東日本大震災復興特別会計は復興庁計上予算である。

※工事諸費等は除く。

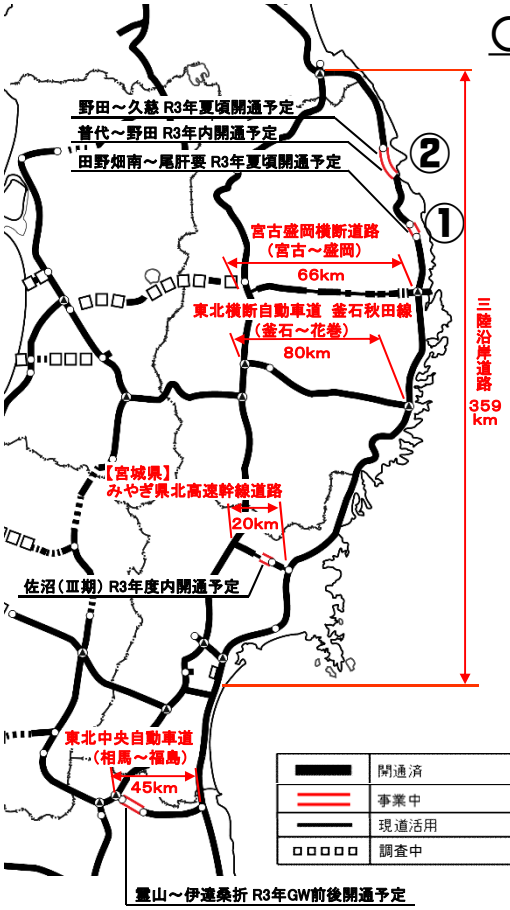
※端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

3. 令和3年度の取り組みのポイント

東日本大震災からの復興・再生を支えるインフラ整備

東日本大震災からの復興・再生を支えるインフラ整備を着実に推進します。また、地方公共団体と連携し、復興の象徴となる国営追悼・祈念施設の整備を着実に推進します。

○復興道路・復興支援道路



復興道路・復興支援道路
（R3.3月末）
総延長　570km
開通済区間　526km
事業中区間　44km

・復興道路・復興支援道路（570km）のうち、**「三陸沿岸道路」は、令和3年内に全線開通**※します。
また、「みやぎ県北高速幹線道路（宮城県）」は、令和3年度内に全線開通※します。
※令和2年度予算により整備を行います



▲新思惟（しんしいの）大橋（仮称）施工状況



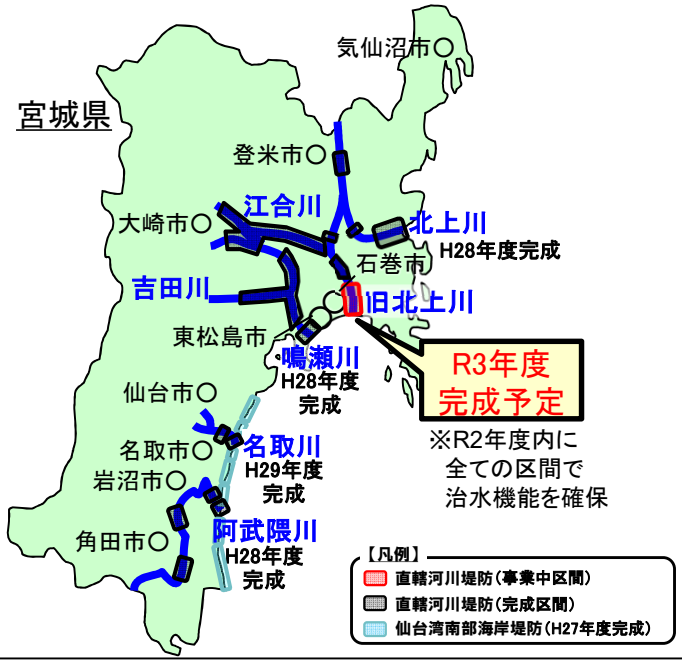
▲新堀内（しんほりない）大橋（仮称）施工状況

【R3年夏頃開通予定】
三陸沿岸道路
田野畑南～尾肝要（6.0km）

【R3年内開通予定】
三陸沿岸道路
普代～野田（13.0km）

■期待される整備効果
震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、甚大な被害を受けた各地域間を繋ぎ、連絡することで、復興に力強く貢献します。

○河川・海岸における復旧復興事業



※R2年度内に
全ての区間で
治水機能を確保

直轄河川堤防及び仙台湾南部海岸堤防の復旧工事のうち、残る旧北上川河口部では令和3年度内の完成を目指して整備を推進※しています。
堤防工事に併せて、水辺を活用した賑わいの場も創出しています。
※令和2年度予算により整備を行います





まちづくりと連携し、賑わいを創出する堤防整備を展開

■期待される整備効果
河川堤防と他機関による海岸堤防等の整備完了により、高潮や数十年から百数十年に一度の津波が来襲しても石巻市街地の浸水を防ぐほかそれを超える大きな津波が来襲した際にも被害を大幅に軽減できます。

東日本大震災からの復興・再生を支えるインフラ整備

○復興・再生を支える港湾整備事業

東日本大震災からの早期復興・再生を図るため、被災地域の経済を支える物流拠点の形成等に必要な港湾施設の整備を行います。

■仙台塩釜港の事例

仙台塩釜港のコンテナ取扱貨物量は、被災前の水準を超え、令和元年は過去最高を更新しました。

このようなコンテナ貨物の増加に対応するため、岸壁の延伸、ふ頭用地の拡張等の機能強化により、東北地域の産業の復興を支える海上輸送ネットワークの充実を図ります。

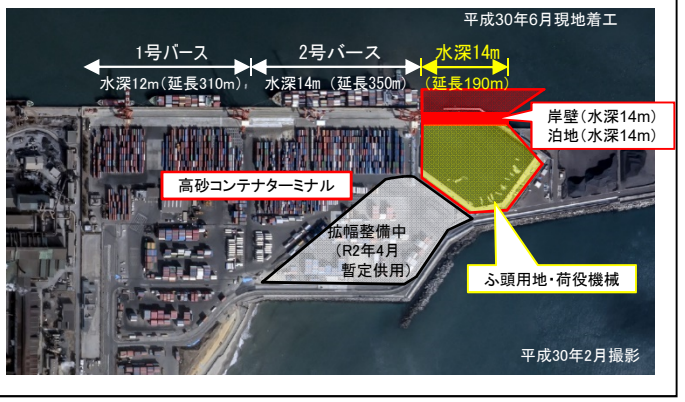


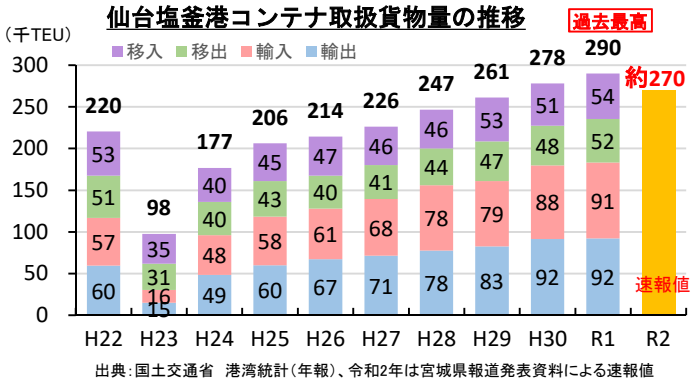
▲ターミナルの混雑状況



▲ターミナルの混雑による臨港道路の渋滞

岸壁の延長不足及びターミナル混雑を解消する港湾整備
【仙台塩釜港　仙台港区　ふ頭再編改良事業】





出典：国土交通省　港湾統計（年報）、令和2年は宮城県報道発表資料による速報値

○国営追悼・祈念施設の整備・管理

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、地方公共団体との連携の下、福島県双葉郡浪江町に国営追悼・祈念施設を整備します。

また、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市の国営追悼・祈念施設において、防災力の向上や地域活性化を目指し、地方公共団体や市民活動団体等と連携しながら運営管理を行います。



福島県復興祈念公園　国営追悼・祈念施設（福島県双葉郡浪江町）



高田松原津波復興祈念公園　国営追悼・祈念施設（岩手県陸前高田市）



石巻南浜津波復興祈念公園　国営追悼・祈念施設（宮城県石巻市）

「3．11伝承ロード」の形成を推進

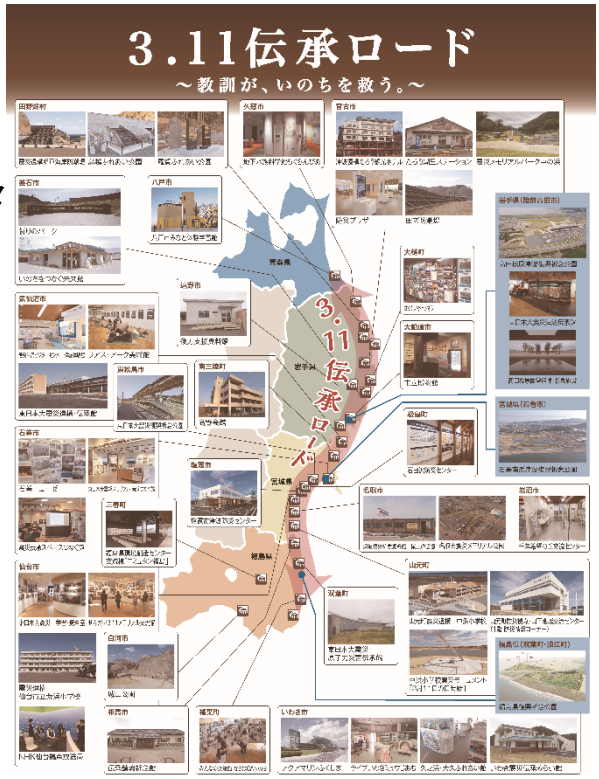
東日本大震災の実情や教訓を忘れずに、広く国内外や次世代に伝えるための震災伝承に積極的に取り組むとともに、「3．11伝承ロード」の形成を推進し、地域の交流促進や防災力の強化を図ります。

○「3．11伝承ロード」の取り組み

東日本大震災の被災地には数多くの貴重な教訓が遺されています。

「3.11伝承ロード」とは、それらを「震災伝承施設」として登録し、ネットワークを図ることで防災・減災に関する様々な取り組みや事業を行う活動を言います。

整備局・被災4県1市で構成する震災伝承ネットワーク協議会では、「震災伝承施設」の募集・登録や、訪問しやすいようにピクトグラムを用いた案内標識の整備、関係機関との連携による情報発信を図り、「3.11伝承ロード」の形成を推進します。



3．11伝承ロード　イメージ図

○「震災伝承施設」の募集・登録


震災遺構　たろう観光ホテル
（岩手県宮古市）


山元町震災遺構　中浜小学校
（宮城県中浜小学校）

○標章（ピクトグラム）を用いた案内表示





標章（ピクトグラム）を用いた施設案内

震災伝承施設ピクトグラム
平成31年4月5日商標登録
登録第6134753号

<デザインについて>
○ 既存のJIS記号（津波、博物館／美術館）を基にした図案の組合せであり、新たな図案よりも理解されやすい。
○ 欧米では建物の図案が博物館と認識され、外国人旅行者にも理解されやすい。

○関係機関との連携による情報発信



イオンモール盛岡南店
（岩手県盛岡市）


名古屋市公会堂
（愛知県名古屋市）
震災伝承パネル展の開催



感謝発信リーフレット
（岩手県）



3.11伝承ロードマップ
（3.11伝承ロード推進機構）
パンフレット等への掲載

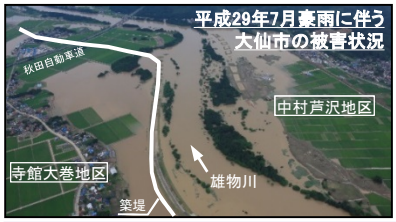
大規模自然災害からの復旧・復興

令和元年東日本台風（台風第19号）及び令和2年7月豪雨等からの復旧・復興に向け、インフラの整備を着実に推進します。

○河川大規模災害関連事業※　○特定緊急砂防事業
○床上浸水対策特別緊急事業　○河川激甚災害対策特別緊急事業

※令和2年度第3次補正予算

・東日本台風及び令和2年7月豪雨等により、東北の各地で甚大な被害が発生しました。
・河川大規模災害関連事業では、阿武隈川、鳴瀬川水系吉田川、最上川において、関係機関でとりまとめた「緊急治水対策プロジェクト」を踏まえ、国・県等が連携し、河道掘削等の治水対策を概ね5～10年で実施します。
・特定緊急砂防事業では、阿武隈川水系内川流域において、令和元年10月に着手した「砂防災害関連緊急事業」に引き続き、早期復旧に向け、緊急的に砂防堰堤の整備等を概ね5年で実施します。
・また、鳴瀬川水系床上浸水対策特別緊急事業、雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業など、再度災害防止に向けた取り組みも引き続き実施します。



【雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業】
・事業期間：平成29年度～令和4年度
・対策内容：河道掘削、堤防整備 等



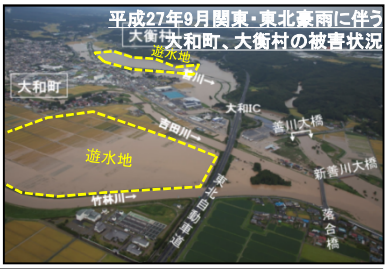
【最上川河川大規模災害関連事業】
・事業期間：令和2年度～令和11年度
・対策内容：河道掘削、遊水地改良、堤防整備 等





【鳴瀬川床上浸水対策特別緊急事業（吉田川）】
・事業期間：平成29年度～令和4年度
・対策内容：河道掘削、遊水地整備 等

【阿武隈川河川大規模災害関連事業】
・事業期間：令和元年度～令和10年度
・対策内容：河道掘削、遊水地、堤防整備 等





【吉田川河川大規模災害関連事業】
・事業期間：令和元年度～令和6年度
・対策内容：河道掘削、堤防整備 等

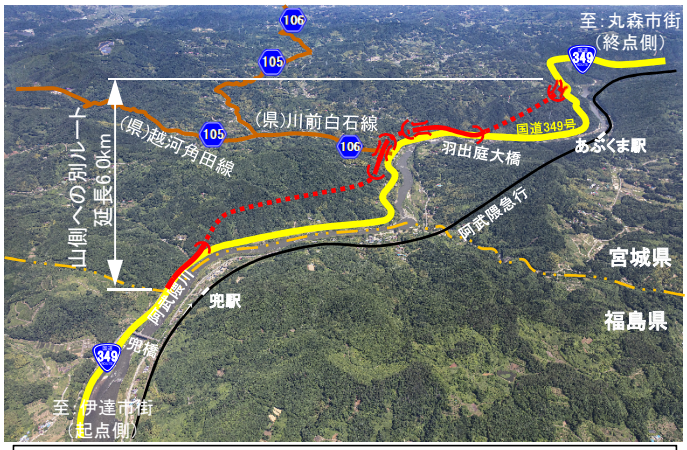


【阿武隈川水系特定緊急砂防事業】
・事業期間：令和2年度～令和6年度
・対策内容：砂防堰堤、遊砂地 等

○国道349号　丸森地区災害復旧事業

・令和元年東日本台風により被災した宮城県丸森町内の「国道349号（宮城県管理）」については、国土交通省の直轄権限代行による災害復旧事業を進めており、令和2年度末に国道349号の現道の復旧が完了しました。
・特に被災の大きかった区間において、「山側への別ルート」での本復旧により災害復旧事業を推進し、令和3年度はトンネル工事に着手します。

■期待される整備効果
特に被災の大きい区間での山側への別ルートの整備により、再度災害の防止を図ります。



注）本資料は、現時点における計画段階のものであり、今後の詳細設計等により、内容が変更となる可能性があります

防災・減災、国土強靱化の推進

気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、令和2年度第3次補正予算と合わせて、防災・減災、国土強靱化を推進します。

※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の令和3年度分の予算は、令和2年第3次補正予算で措置

○防災・減災、国土強靱化の推進〈河川関係〉

■ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の推進

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な治水対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を推進していきます。

「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速化していきます。



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」

流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河川堤防や遊水地等の整備　・治水ダムの建設・再生
- ・雨水貯留浸透・排水施設の整備
- ・砂防関係施設の整備　・海岸保全施設の整備
- ・利水ダム等の事前放流
- ・利水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化
- ・水田の貯留機能の向上
- ・森林整備、治山対策
- ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
- ・未活用の国有地を活用した遊水地・雨水貯留浸透施設等の整備　など

■被害対象を減少させるための対策
- ・高台まちづくりの推進（線的・面的につながった高台・建物群の創出）
- ・リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導　など

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・ハザードマップやマイタイムライン等の策定
- ・要配慮者利用施設（医療機関、社会福祉施設等）の浸水対策
- ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策
- ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持　など

あらゆる関係者が協働して、「流域治水プロジェクト」を策定し、実行

■防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全（老朽化対策）の推進

予防保全型維持管理に向け、設置後数十年経過し老朽化した河川管理施設の修繕・更新を集中的に実施するほか、河川管理施設操作の高度化・効率化対策として、無動力化、遠隔監視・操作化等を推進します。

【対策内容】
老朽化した河川管理施設の修繕・更新を実施

効果

河川管理施設（堤防、水門、樋門・樋管、排水機場等）のうち、予防保全段階にある施設の修繕を集中的に行い、予防保全型インフラメンテナンスへ転換し、中長期的なトータルコストの縮減等を図ります。



樋管函体継ぎ手部補修

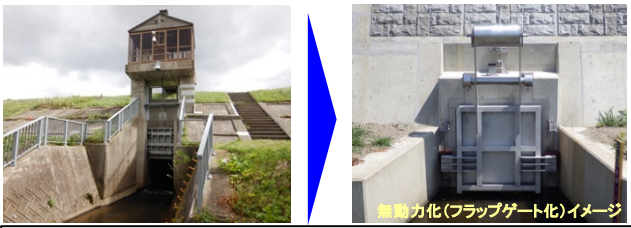


樋管翼壁断面補修

【対策内容】
河川管理施設操作の高度化・効率化対策として無動力化、遠隔監視・操作化を実施

効果

老朽化した小規模な樋門等の無動力化、排水機場等の遠隔監視・操作化を行い、急激な水位上昇等に対する操作の遅れや、操作する人員の確保に関する課題の解消、操作の安全性・確実性の確保を図ります。



樋門樋管ゲートの無動力化（フラップゲート化）による省人化

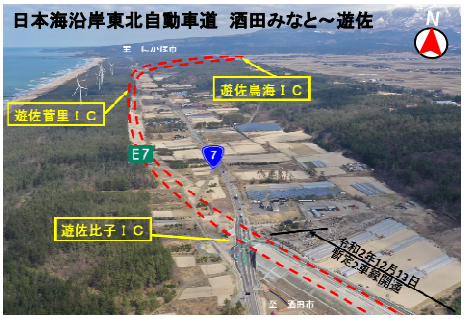
防災・減災、国土強靱化の推進

○防災・減災、国土強靱化の推進〈道路関係〉

近年の激甚化・頻発化する災害や急速に進む施設の老朽化等に対応するべく、災害に強い国土幹線道路ネットワーク等を構築するため、高規格道路ネットワークの整備や老朽化対策等の抜本的な対策を含めて、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図ります。

＜主な取り組み＞

- 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策
- 定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の老朽化対策
- 渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- 道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策
- 道路の法面・盛土の土砂災害防止対策
- 市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策
- ITを活用した道路管理体制の強化対策



高規格道路のミッシングリンク解消



高架区間等を活用した避難施設



道路法面･盛土対策

○防災・減災、国土強靱化の推進〈港湾関係〉

防災・減災、国土強靱化に向けた取り組みを引き続き推進します。

＜主な取り組み＞

- 入出港船舶の安全な航行・荷役を確保するとともに、大規模な津波等被害から人命や財産を守り、地域住民の安全で安心な生活を支える基幹的海上交通ネットワークを維持するため、防波堤等の整備を推進します。
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、老朽化した岸壁等を改良し、機能回復と施設の延命化を図ります。
- 頻発化・激甚化する台風に伴う高潮・高波による港湾内の被害軽減を図るため、最新の設計沖波等で照査した結果を踏まえ、港湾施設の嵩上げ・補強等を推進します。



▲大規模津波対策（久慈港湾口地区防波堤）



岸壁の老朽化状況



改良後の岸壁

▲老朽化した岸壁の改良（青森港 沖館地区岸壁（水深13m））

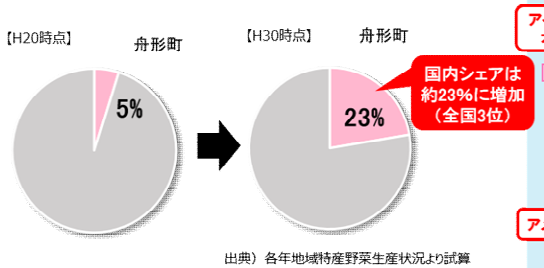
産業の競争力強化、多核連携型国づくりへの転換に向けたインフラ整備

産業の競争力強化や多核連携型国づくりへの転換による地方の活性化に向け、道路ネットワークや港湾施設などのインフラ整備を戦略的かつ計画的に推進します。

○ストック効果事例　～高規格道路と重要港湾との交通ネットワーク連携～

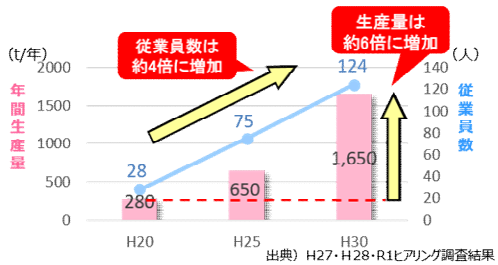
・整備を進めている新庄酒田道路の新庄古口道路は、令和4年度に開通を予定しています。
・重要港湾である酒田港からの交通ネットワークが形成され、舟形町へのアクセス性向上により、地域産品の生産を支援します。

▼舟形町のマッシュルーム国内シェア



出典）各年地域特産野菜生産状況より試算

▼舟形町の主なマッシュルーム生産業者における年間生産量と従業員数の推移



出典）H27・H28・R1ヒアリング調査結果

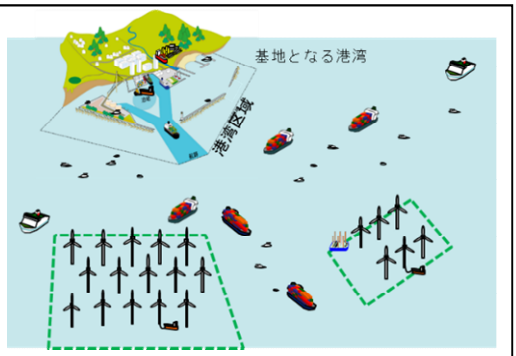
▼マッシュルーム生産業者の資機材や生産物の輸送実態



出典）マッシュルーム生産業者へのヒアリング調査結果(H27・H28・R1)

○洋上風力発電の促進　～基地港湾の整備～

我が国では、環境負荷を低減し、長期的・安定的なエネルギー供給のため、関連産業が多く地域活性化にも資する洋上風力発電を促進することとしています。風況に恵まれた秋田県沿岸に洋上風力発電施設を設置するための基地港湾として、秋田港、能代港に重厚長大な資機材を扱うことが可能な地耐力を有する岸壁等の港湾施設の整備を進め、洋上風力発電の導入を後押しします。



▲洋上風力発電事業と基地港湾のイメージ



▲洋上風力部材の搬入状況（秋田港飯島地区）



▲基地港湾の整備状況（能代港大森地区）

産業の競争力強化、多核連携型国づくりへの転換に向けたインフラ整備

■官民連携による渋滞対策の推進

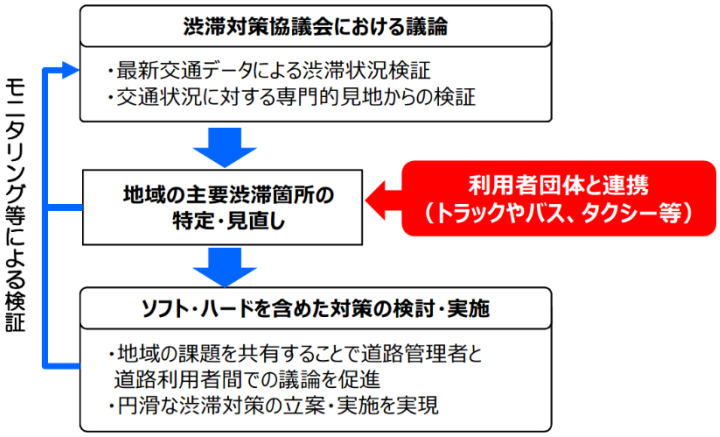
トラック・バス等、道路利用者の視点での渋滞箇所の特定や、渋滞の原因者である大規模施設の立地者が対策を講じるなど、官民連携による渋滞対策を推進します。

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

主要幹線道路の沿道において、大規模施設の立地者に対し、交通アセスメント等の実施を求めるなど、接道承認時の審査強化を導入します。

渋滞対策の流れ



2. 主な事業箇所・事業内容

国道7号　八ツ役前交差点
（青森県 青森市）



<<右折レーン増設を予定 >>

国道4号　太日通り交差点
（岩手県 奥州市）



<<右折導流線の明示、
右折レーン延伸を予定 >>

国道45号　坂下交差点
（宮城県 仙台市）



<<右折レーン延伸を予定 >>

国道13号　古川添交差点
（秋田県 秋田市）



<<右折レーン延伸を予定 >>

国道112号　江俣交差点
（山形県 山形市）



<<右折レーン延伸を予定 >>

国道4号　大黒町交差点
（福島県 須賀川市）



<<左折レーン延伸を予定 >>

東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」

- 少子高齢化が進む東北地方で、災害時の迅速な対応そしてインフラの維持管理や除排雪など、**「地域の守り手」である建設業の担い手確保対策を、東北全体へと拡げることが必要**
- **東北地整、県・仙台市、建設業団体が連携して取り組む「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」を、東北管内の全市町村(226市町村)へ拡大**　（→ 取組をオール東北で浸透・定着化）
- 新型コロナウイルス感染症対策を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上を図るため、データとデジタル技術を活用したインフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を強力に推進

「強い東北」の実現に向け、取組を浸透・定着化

働き方改革の推進

①「週休２日工事」の普及拡大
（証明書の取組を**10万人以上の都市**へ拡大）
②「統一土曜一斉現場閉所」の取組みを各県単位で**「月１」定着**
③「ウィークリースタンス」を業務・工事ともに**全市町村**へも拡大
④「施工時期の平準化」を**全発注者**にて指標化・目標設定し推進
⑤**「デジタル化・リモート化」の推進**
（東北地整の全業務を対象にWEB会議・WEB検査を標準化）

生産性向上の推進

⑥「ICT活用工事」の普及拡大
（証明書の取組を**10万人以上の都市**へ拡大）
⑦「簡易チャレンジ型ICT」の推進によるICT未経験企業の拡大（国）
⑧**「ウェアラブルカメラ等を活用した遠隔臨場」**の推進。調査業務及び工事で**標準化**（国）
⑨「i-Constructionモデル事業」及び「BIM/CIM」活用による調査～管理までの３次元データ化を加速（国）

担い手の育成・確保（地域の守り手確保）

⑩東北土木技術人材育成協議会※1によるICT・UAV講習会の市町村受講者の拡大
⑪**「学生向け新技術体験学習会」**をi-Construction連絡調整会議※2により開催
⑫優良工事表彰で「地域の守り手枠（維持工事）」を表彰（国）

※1　若手技術者の育成を目的に官民連携のもと平成29年3月に設立。東北地方の官民の17団体が参画し、土木施工やi-Constructionに関する基礎技術講習会を実施。
※2　東北地域の建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取組みを推進するため、産官民で平成29年8月に設置。 i-Constructionに関する情報共有、利用可能技術の導入・拡大等を推進。

三位一体で推進

「統一土曜一斉現場閉所」の取組推進

「統一土曜一斉現場閉所」の取り組みは公共工事の現場を一斉に閉所する取り組みであり、元請・下請が共に週休２日を取得できる取り組み。令和元年度から東北6県で実施しており、**令和3年度も継続実施するとともに「月１」定着**を目指し取り組みをさらに拡大する。

＜R3取組み＞





▲**青森** 実施日数12日　▲**山形** 実施日数12日

遠隔臨場の標準化

公共工事の建設現場における施工状況の確認作業に、ウェアラブルカメラ等を使用して、受発注者双方の作業の効率化を図る。**東北6県・仙台市とともに積極的に導入促進に取り組む**。また、東北地整では、令和3年度より調査業務や工事において**「遠隔臨場の標準化」**を進める。

＜工事での段階確認＞
・段階確認（アンカー工、重要構造物等不可視部分、配筋確認、杭打ち確認）など



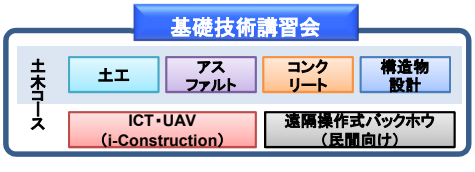


＜調査業務での活用＞
・ボーリングの検尺



新技術体験学習会の開催

生産性向上に繋がるUAVやICT等の最新技術の習得を図る講習会を、東北6県・7会場にて開催。市町村職員の更なる受講者拡大を図る。
さらに令和3年度より**高校生・大学生を対象に「（仮称）i-Construction新技術体験学習会」を新たに創設**し、次世代を担う若手技術者の育成を目指す。



＜学生向け新技術体験学習会の内容（例）＞



座学のみではなく、ﾊﾝｽﾞｵﾝ実習による実践的な体験

4. 令和3年度の道路調査の見通しについて

令和3年度の道路調査の見通しについて（ネットワーク）

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

岩手県　国道4号　盛岡南道路
青森県　下北半島縦貫道路　野辺地～七戸

※調査が進捗した後に、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査に着手

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

宮城県　仙台東道路
秋田県　国道13号　横手北道路
山形県　国道112号　山形南道路

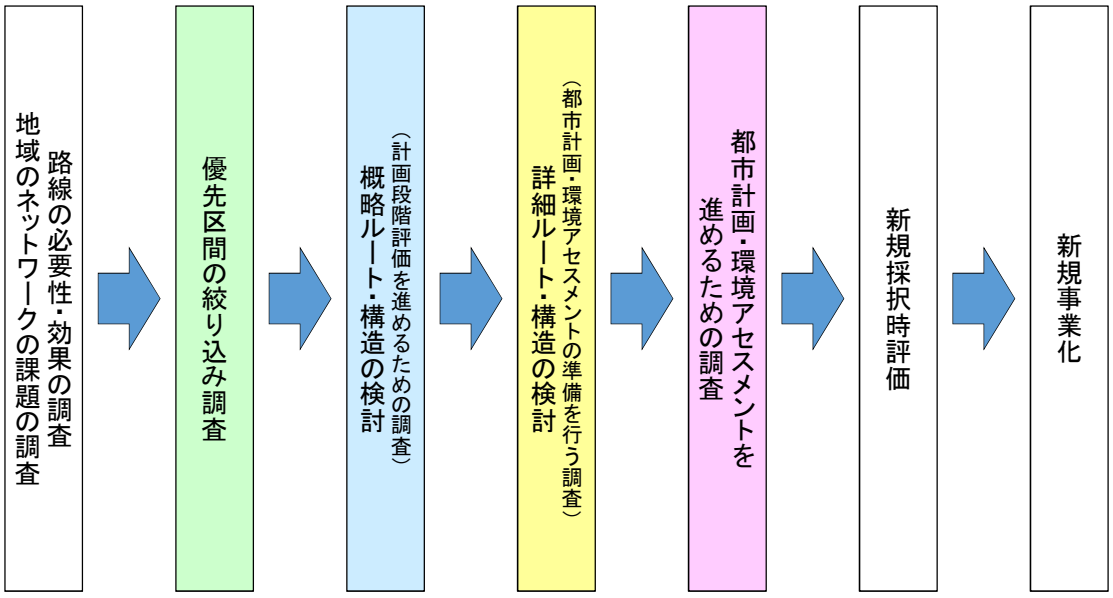
宮城県内において、国道48号上愛子地区を対象に、観光期渋滞対策の検討を進めます。

福島都市圏については、幹線ネットワークの機能強化を検討します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞

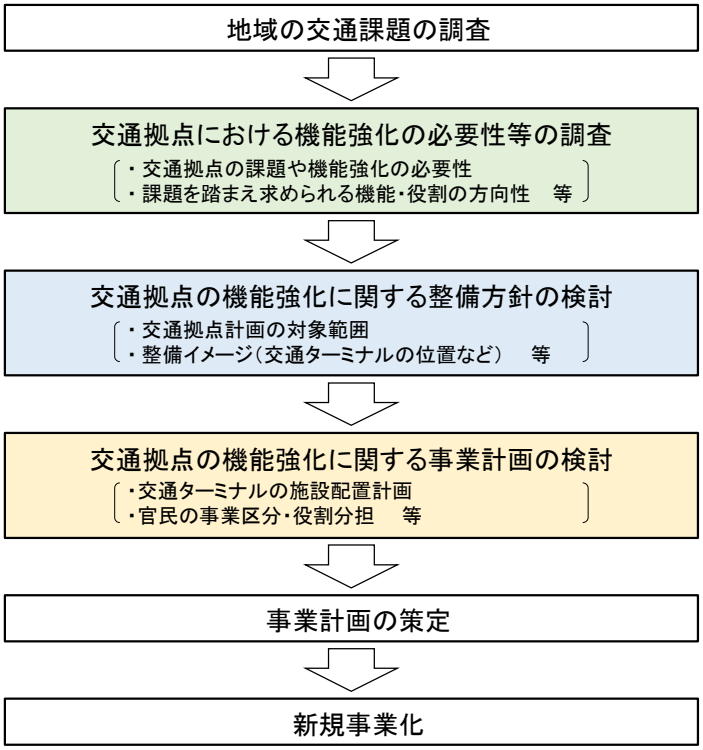


令和3年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

仙台駅周辺における交通拠点の機能強化の必要性等の調査を実施します。
※ 調査が進捗した後に、交通拠点の機能強化に関する整備方針の検討に着手

また、地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜交通拠点の調査の流れ＞



5. 令和3年度新規事業化箇所

【主な新規事業化箇所】

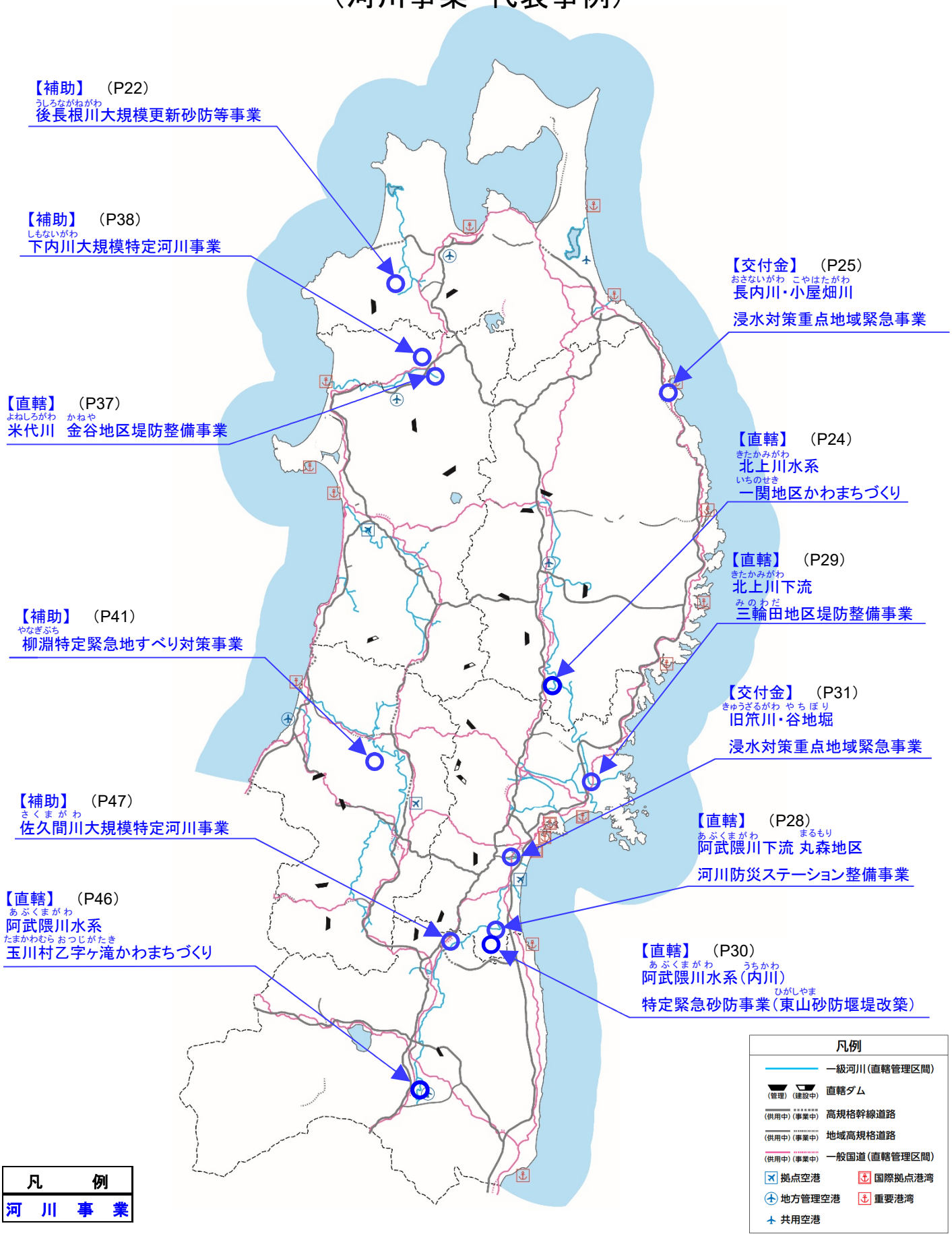
事業区分		事業名	県名	市町村名	完成予定 開通目標 年　度	R3事業費 （百万円）	R3事業内容	備考
河川 （砂防）	補助	後長根川大規模更新砂防等事業	青森県	弘前市	R7	10	堰堤改良工	P22
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策 （戸山地区交差点改良）	青森県	青森市	―	24	調査設計	P23
道路	直轄	国道104号　青森104号交通安全対策 （田面木地区交差点改良）	青森県	八戸市	―	18	調査設計	P23
河川	◆ 直轄	北上川水系　一関地区かわまちづくり	岩手県	一関市	R12	（　199）	親水護岸（階段型） 坂路　等	P24
河川 （ダム）	◆ 直轄	北上川水系　西和賀町かわまちづくり	岩手県	西和賀町	R12	（　199）	施設設計	
河川	交付金	長内川・小屋畑川 浸水対策重点地域緊急事業※	岩手県	久慈市	R8	300	調査設計	P25
河川	補助	気仙川大規模特定河川事業	岩手県	陸前高田市 住田町	R12	200	橋梁架替	
道路	直轄	国道106号　箱石達曽部道路	岩手県	宮古市	―	100	調査設計	P26
道路	直轄	国道45号　岩手45号交通安全対策 （権現堂交差点改良）	岩手県	大船渡市	―	30	調査設計	P27
道路	直轄	国道45号　岩手45号電線共同溝 （神林地区）	岩手県	宮古市	―	50	調査設計	P27
河川	直轄	阿武隈川下流　丸森地区 河川防災ステーション整備事業	宮城県	丸森町	―	（　331）	用地補償	P28
河川	直轄	北上川下流　三輪田地区堤防整備事業	宮城県	石巻市	―	（　918）	堤防整備	P29
河川	直轄	北上川下流　鹿又地区堤防整備事業	宮城県	石巻市	―		堤防整備	
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系（内川） 特定緊急砂防事業（東山砂防堰堤改築）	宮城県	丸森町	R5	（ 1,500）	砂防堰堤工	P30
河川	交付金	旧笊川・谷地堀 浸水対策重点地域緊急事業※	宮城県	仙台市	R7	310	調査設計　等	P31
道路	直轄	国道4号　仙台拡幅（篭ノ瀬～鹿の又）	宮城県	仙台市	―	100	調査設計	P32
道路	直轄	国道108号　石巻河南道路	宮城県	石巻市	―	100	調査設計	P33
道路	直轄	国道6号　宮城6号交通安全対策 （神宮寺南交差点改良）	宮城県	亘理町	―	60	改良工事	P34
道路	補助	市道（仮称）白石中央スマートインター線 （仮称）白石中央スマートＩＣアクセス	宮城県	白石市	―	45	調査設計	P35
道路	補助	市道（仮称）白石中央工業団地線 （仮称）白石中央スマートＩＣアクセス	宮城県	白石市	―	31	調査設計	P35
営繕	直轄	仙台第３地方合同庁舎改修事業	宮城県	仙台市	R5	86	空調設備改修	P36
河川	直轄	米代川　金谷地区堤防整備事業	秋田県	大館市	―	（　745）	堤防整備	P37
河川 （砂防）	直轄	八幡平山系 直轄砂防事業（赤倉沢第１砂防堰堤）	秋田県	仙北市	R7	（　722）	砂防堰堤工	

【主な新規事業化箇所】

事業区分		事業名	県名	市町村名	完成予定 開通目標 年　度	R3事業費 （百万円）	R3事業内容	備考
河川	補助	下内川大規模特定河川事業	秋田県	大館市	R10	250	頭首工　等	P38
河川	補助	芋川大規模特定河川事業	秋田県	由利本荘市	R12	142	用地補償　等	
道路	直轄	国道105号　大覚野峠防災	秋田県	仙北市～ 北秋田市	－	100	調査設計	P39
道路	直轄	国道7号　秋田7号交通安全対策 （荷上場地区交差点改良）	秋田県	能代市	－	15	調査設計	P40
道路	直轄	国道7号　秋田7号電線共同溝 （有浦地区）	秋田県	大館市	－	10	調査設計	P40
河川 （砂防）	補助	柳淵特定緊急地すべり事業	山形県	大蔵村	R5	700	杭工	P41
道路	直轄	国道47号　戸沢立川道路	山形県	戸沢村～ 庄内町	－	100	調査設計	P42
道路	直轄	国道112号　山形112号交通安全対策 （東原町地区事故対策）	山形県	鶴岡市	－	15	調査設計	P43
道路	補助	市道（仮称）スマートインター1号線 （仮称）天童南スマートＩＣアクセス	山形県	天童市	－	20	調査設計	P44
道路	補助	市道（仮称）スマートインター2号線 （仮称）天童南スマートＩＣアクセス	山形県	天童市	－	20	調査設計	P44
道路	補助	町道（仮称）高畠インター1号線 （仮称）高畠スマートＩＣアクセス	山形県	高畠町	－	30	調査設計	P45
河川	直轄	阿武隈川水系 玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり	福島県	玉川村	R12	（　131　）	施設設計	P46
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系 直轄砂防事業（須川第１砂防堰堤改築）	福島県	福島市	R3	（　933　）	砂防堰堤工	
河川	補助	滝川大規模特定河川事業	福島県	伊達市 国見町	R6	250	築堤　等	
河川	補助	佐久間川大規模特定河川事業	福島県	桑折町	R6	250	築堤、橋梁架替	P47
河川 （砂防）	補助	阿賀野川圏域大規模更新砂防等事業	福島県	会津美里町	－	80	堰堤改良工	
道路	直轄	国道4号　矢吹鏡石道路	福島県	矢吹町～ 鏡石町	－	100	調査設計	P48
道路	直轄	国道6号　福島6号交通安全対策 （双葉地区事故対策）	福島県	双葉町	－	15	調査設計	P49
道路	直轄	国道13号　福島13号交通安全対策 （北矢野目交差点改良）	福島県	福島市	－	14	調査設計	P49
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策 （北柳原交差点改良）	福島県	会津若松市	－	15	調査設計	

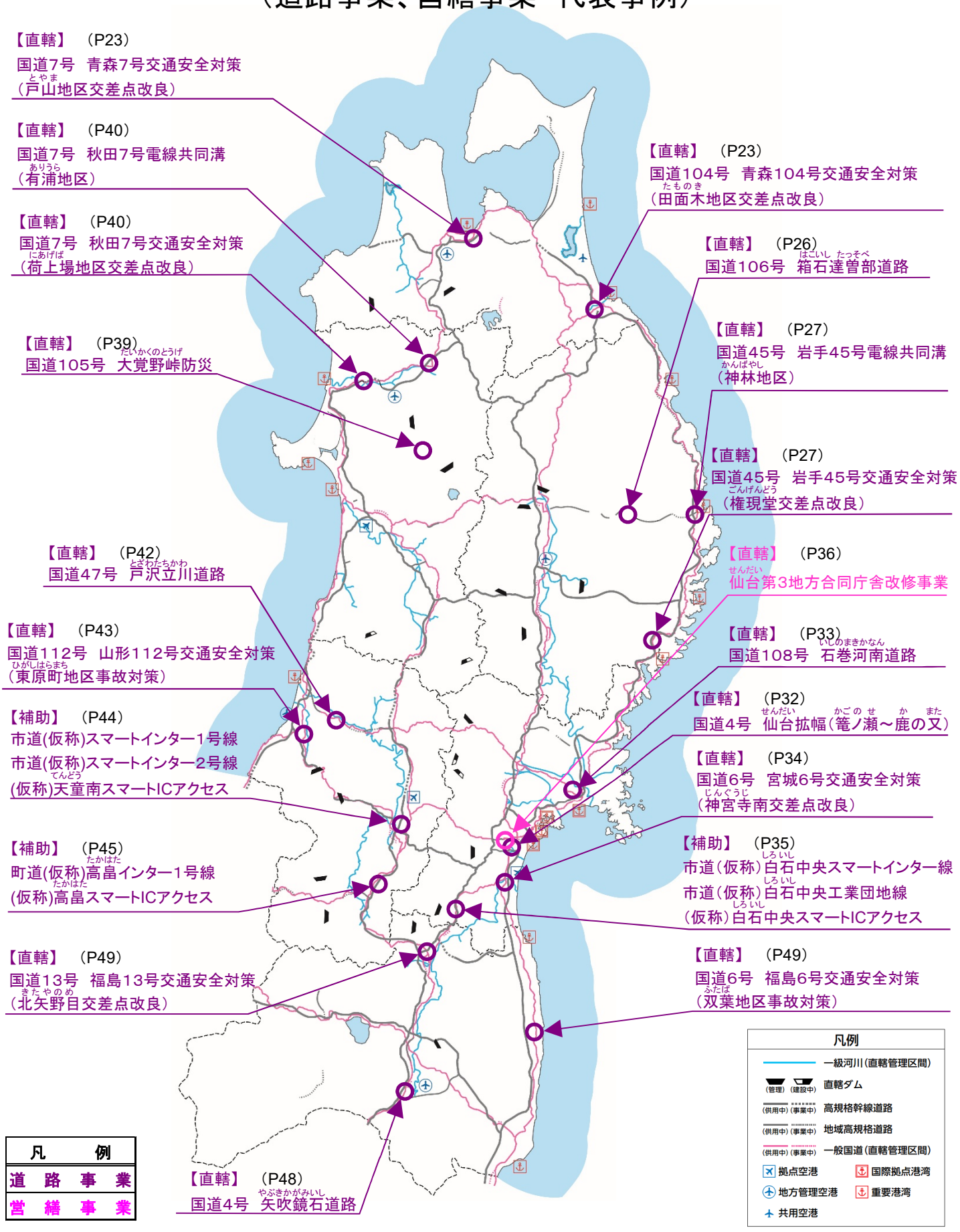
・事業費の（　）の金額は、以下河川・水系単位の全体額
　阿武隈川下流、北上川下流、米代川、阿武隈川水系、八幡平山系（秋田県）、阿武隈川水系（宮城県）、阿武隈川水系（福島県）
・◆の事業費の（　）の金額は、北上川水系（岩手県・宮城県）の全体額
・河川事業（砂防含む）のうち補助事業については、主な新規事業化箇所を掲載
・道路事業のうち交通安全事業及び電線共同溝事業については、主な新規事業化箇所を掲載
・※中小河川の氾濫により深刻な影響が生じた地域において、再度災害の防止等を図ることを目的に防災・安全交付金で集中的な対策を支援する事業

【新規事業化箇所位置図】
（河川事業　代表事例）



凡　例
河　川　事　業

【新規事業化箇所位置図】
（道路事業、営繕事業　代表事例）



【直轄】　（P23）
国道7号　青森7号交通安全対策
（戸山地区交差点改良）

【直轄】　（P40）
国道7号　秋田7号電線共同溝
（有浦地区）

【直轄】　（P40）
国道7号　秋田7号交通安全対策
（荷上場地区交差点改良）

【直轄】　（P39）
国道105号　大覚野峠防災

【直轄】　（P23）
国道104号　青森104号交通安全対策
（田面木地区交差点改良）

【直轄】　（P26）
国道106号　箱石達曽部道路

【直轄】　（P27）
国道45号　岩手45号電線共同溝
（神林地区）

【直轄】　（P27）
国道45号　岩手45号交通安全対策
（権現堂交差点改良）

【直轄】　（P36）
仙台第3地方合同庁舎改修事業

【直轄】　（P42）
国道47号　戸沢立川道路

【直轄】　（P43）
国道112号　山形112号交通安全対策
（東原町地区事故対策）

【直轄】　（P33）
国道108号　石巻河南道路

【補助】　（P44）
市道(仮称)スマートインター1号線
市道(仮称)スマートインター2号線
(仮称)天童南スマートICアクセス

【直轄】　（P32）
国道4号　仙台拡幅（篭ノ瀬～鹿の又）

【直轄】　（P34）
国道6号　宮城6号交通安全対策
（神宮寺南交差点改良）

【補助】　（P45）
町道(仮称)高畠インター1号線
(仮称)高畠スマートICアクセス

【補助】　（P35）
市道（仮称）白石中央スマートインター線
市道（仮称）白石中央工業団地線
（仮称）白石中央スマートICアクセス

【直轄】　（P49）
国道13号　福島13号交通安全対策
（北矢野目交差点改良）

【直轄】　（P49）
国道6号　福島6号交通安全対策
（双葉地区事故対策）

【直轄】　（P48）
国道4号　矢吹鏡石道路

凡　例
道　路　事　業
営　繕　事　業

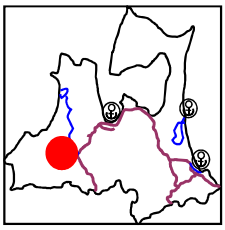
凡例
- 一級河川（直轄管理区間）
- （管理）（建設中）直轄ダム
- （供用中）（事業中）高規格幹線道路
- （供用中）（事業中）地域高規格道路
- （供用中）（事業中）一般国道（直轄管理区間）
- 拠点空港
- 国際拠点港湾
- 地方管理空港
- 重要港湾
- 共用空港

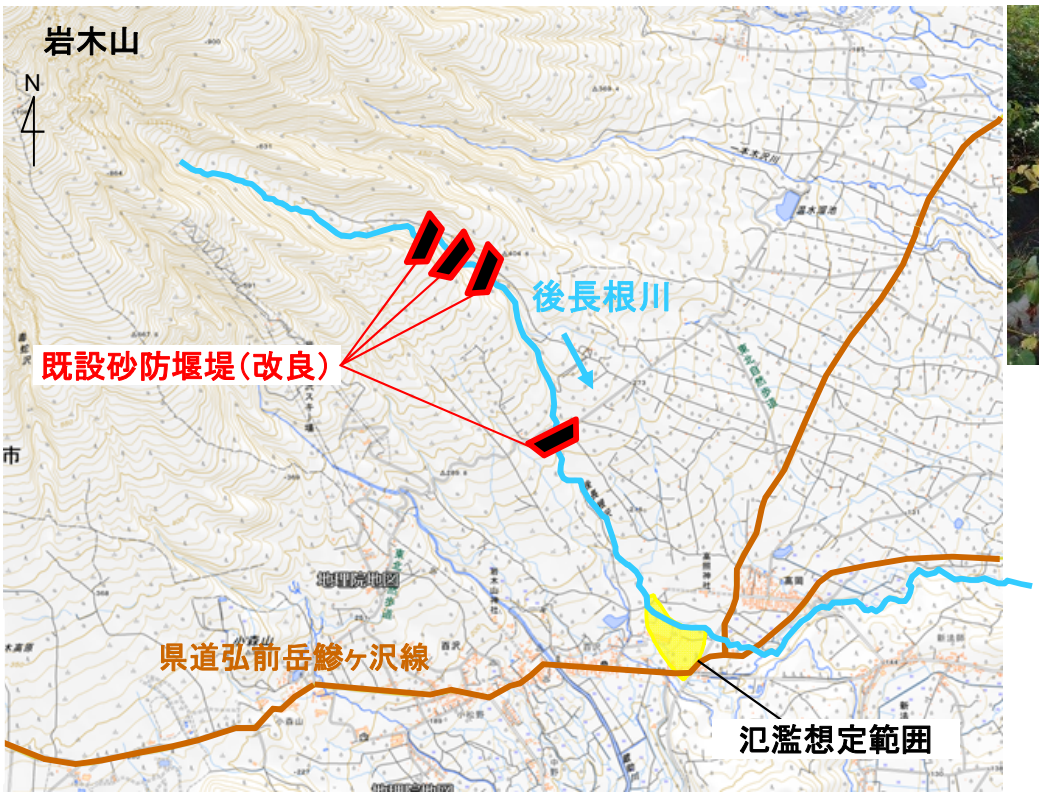
後長根川（うしろながねがわ）大規模更新砂防等事業

R3：10百万円
完成予定：R7

新規	青森県弘前（ひろさき）市	河川(砂防)	補助

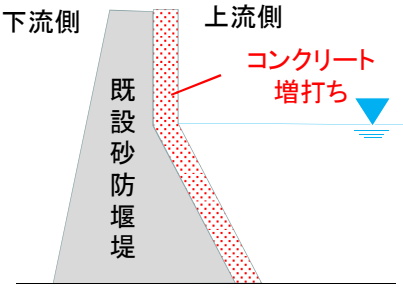
【事業の概要】
後長根川において、豪雨の際に土砂・洪水氾濫や土石流が発生し、下流の人家や道路に被害を及ぼす恐れがあることから、老朽化対策のため既設砂防堰堤の改良を実施し、地域の安全性向上を図ります。






既設砂防堰堤

砂防堰堤断面図



既設砂防堰堤改良イメージ
（コンクリート増打ち）

【整備効果】
土石流から下流の人家・要配慮者利用施設や県道等を保全します。


要配慮者利用施設（保育園）


県道弘前岳鰺ヶ沢線

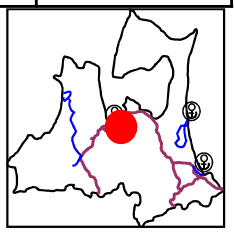
【令和3年度の事業内容】
堰堤改良工を実施します。

国道7号　青森7号交通安全対策（戸山地区交差点改良）

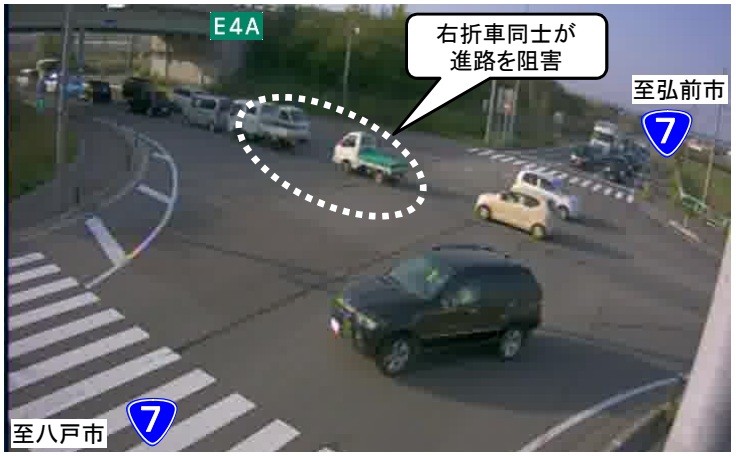
R3：24百万円
完成予定：ー

新規	青森県青森市	道路	直轄

【事業の概要】
青森市中心部付近に位置する当交差点は、上下線が分離した複雑な形状の交差点のため、右折事故等が多発しています。このため、右折導流帯の路面表示等を実施します。







▲交差点の状況

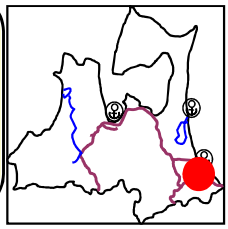
【令和3年度の事業内容】
調査設計を実施します。

国道104号　青森104号交通安全対策（田面木地区交差点改良）

R3：18百万円
完成予定：ー

新規	青森県八戸市	道路	直轄

【事業の概要】
八戸市中心部付近に位置する当交差点は、右折レーンから対向車の見通しが悪く、右折事故等が多発しています。このため、右折レーン位置の改善等を実施します。







▲交差点の状況

【令和3年度の事業内容】
調査設計を実施します。

北上川水系　一関地区かわまちづくり

R3：199百万円※

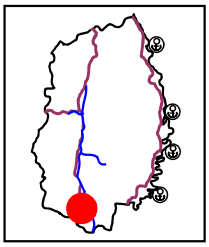
完成予定：R12

新規	岩手県一関市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】

一関地区では、河川公園や桜づつみ堤防を活用し、かわとまちの回遊性を高め、まちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間を創出するため、親水護岸や管理用通路等の整備を実施します。





【整備内容】	
国土交通省	親水護岸、緩傾斜坂路、階段、管理用通路など
一　関　市	磐井川緑地リノベーション、ベンチ、多目的公園整備など

【整備効果】

まちづくりと一体となった水辺整備を進めることにより、各エリアを結んだ河川空間の回遊性が向上し、地域の観光振興の活性化が期待されます。



▲水辺空間の整備イメージ



▲利活用状況（お花見）



▲利活用状況（バルーン大会）

【令和3年度の事業内容】

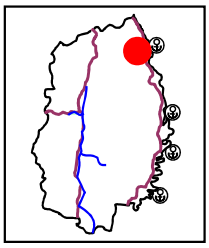
親水護岸、坂路の整備を実施します。

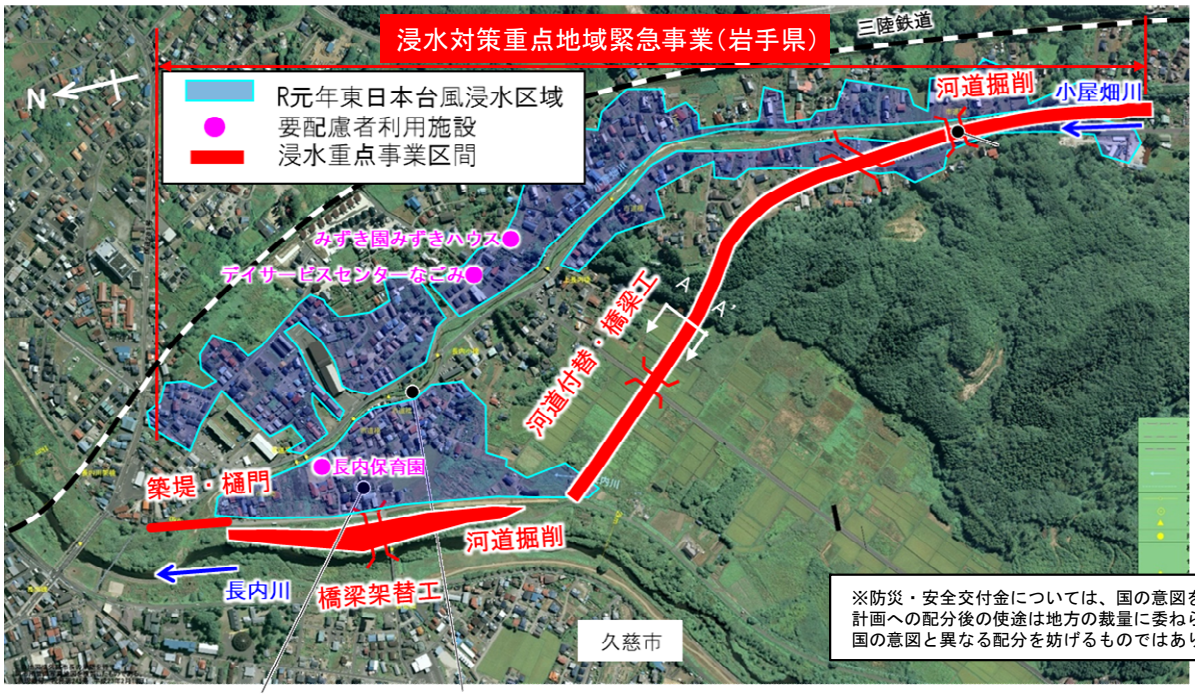
長内川・小屋畑川浸水対策重点地域緊急事業

R3：300百万円
完成予定：R8

新規	岩手県久慈市	河川	交付金

【事業の概要】
久慈川水系長内川および小屋畑川は、令和元年東日本台風により、家屋等の甚大な浸水被害が発生しました。このため、浸水対策重点地域緊急事業により河道付替等を実施し、地域の安全性の向上を図ります。





※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の使途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではありません。

【整備効果】
事業完了により、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合においても、家屋の浸水被害を解消します。



▲令和元年東日本台風による被害状況



▲令和元年東日本台風による被害状況

【令和3年度の事業内容】
河道付替工事の調査設計を実施します。

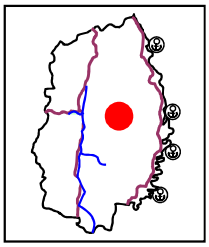
国道106号　箱石達曽部道路

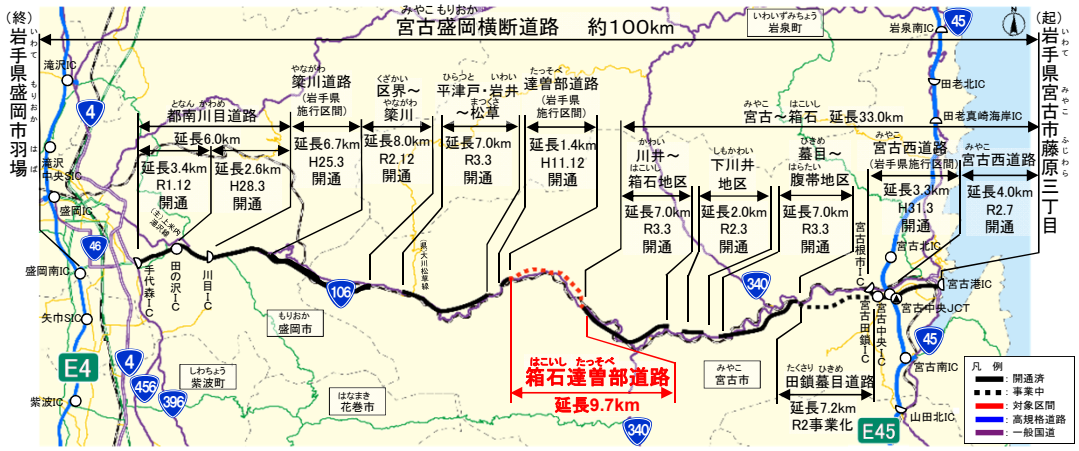
R3：100百万円

開通予定：ー

新規	岩手県宮古市	道路	直轄

【事業の概要】
　宮古盛岡横断道路の一部として一般国道106号の落石や土砂流出などの危険箇所を回避し、災害時の通行止めによる広域迂回の解消を目的とする道路です。

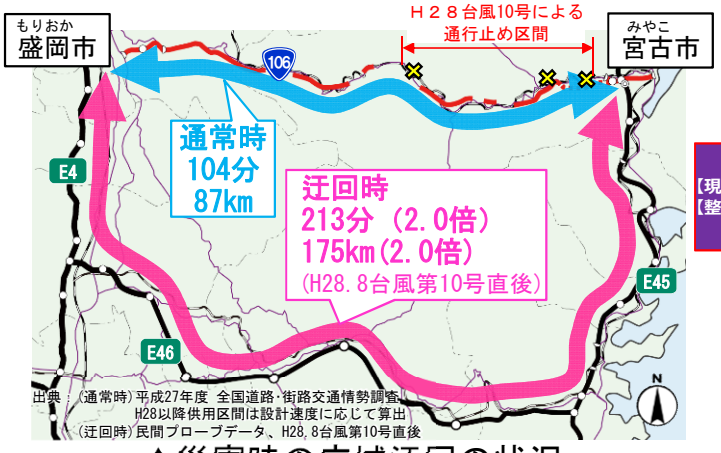




【整備効果】
○国道106号の落石や土砂流出などの危険箇所を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保します。
○三次救急医療施設へのアクセス性向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援します。



▲国道106号の被災状況（平成28年8月台風10号災害）



▲災害時の広域迂回の状況



▲岩手県内の三次救急医療施設

【令和3年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

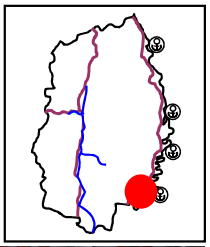
国道45号　岩手45号交通安全対策（権現堂交差点改良）

R3：　30百万円

完成予定：ー

新規	岩手県大船渡市	道路	直轄

【事業の概要】
　大船渡市中心部付近に位置する当交差点は、食い違い交差形状となっており、それに起因する事故等が多発しています。このため、交差点形状を変更します。







▲交差点の状況

【令和3年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

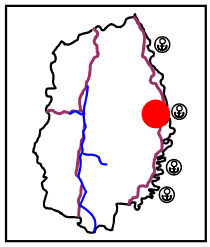
国道45号　岩手45号電線共同溝（神林地区）

R3：50百万円

完成予定：　ー

新規	岩手県宮古市	道路	直轄

【事業の概要】
　神林地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道４５号の電柱状況

【令和3年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

阿武隈川下流　丸森地区河川防災ステーション整備事業

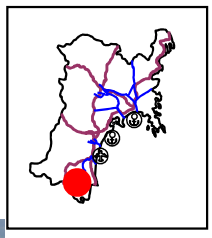
R3：331百万円※

完成予定：ー

新規	宮城県伊具郡丸森町	河川	直轄

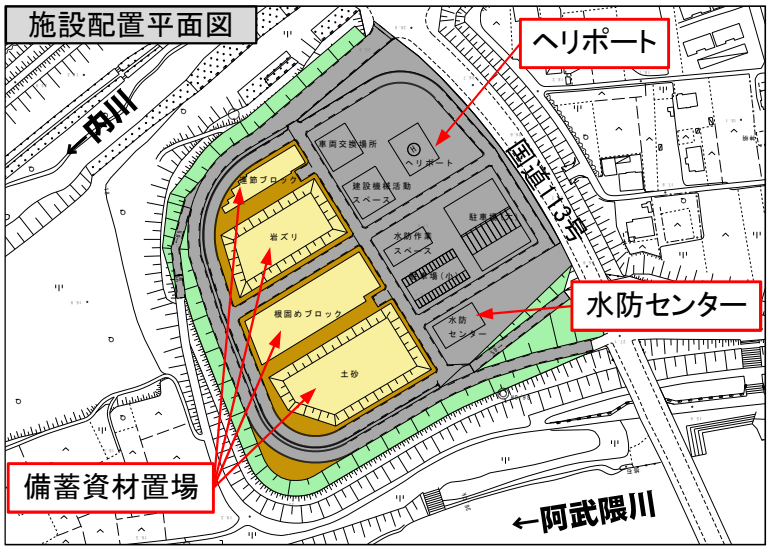
※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した阿武隈川下流において、洪水被害を最小限とするため、災害時に活用する緊急用備蓄材やヘリポート等を有する河川防災ステーションを整備します。





【整備効果】
　洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場等として活用されます。





【令和3年度の事業内容】
　事業用地の取得を実施します。

北上川下流　三輪田地区堤防整備事業

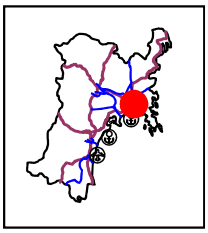
R3:918百万円※

完成予定:ー

新規	宮城県石巻市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
堤防の高さが不足し、流下能力が低いことに加え、背後地に学校等の重要施設や家屋がある三輪田地区において、堤防を整備します。

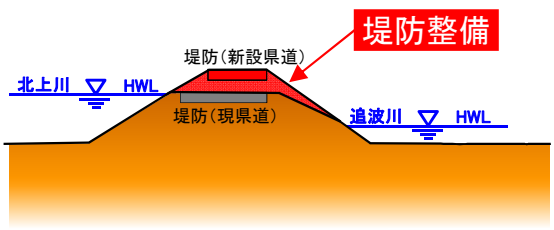




※図の赤着色は、地区全体の事業範囲を示しており、令和3年度の事業範囲のみを示すものではありません。

【整備効果】
堤防整備により、堤防決壊時に想定される重要施設や約800戸の家屋等の浸水被害を防止します。

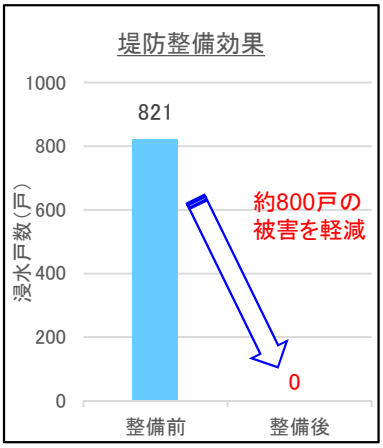
堤防整備（イメージ）



三輪田地区における洪水時の状況（平成14年7月洪水）



堤防整備効果



【令和3年度の事業内容】
堤防整備を実施します。

阿武隈川水系（内川）
特定緊急砂防事業（東山砂防堰堤改築）

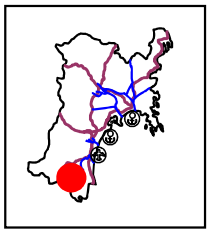
R3：1,500百万円※

完成予定：R5

新規	宮城県伊具郡丸森町	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
阿武隈川水系内川流域では、令和元年東日本台風に伴い、土砂洪水氾濫が発生しました。早期復旧に向けて緊急的に既設砂防堰堤の改築整備等を実施し、地域の安全性向上を図ります。



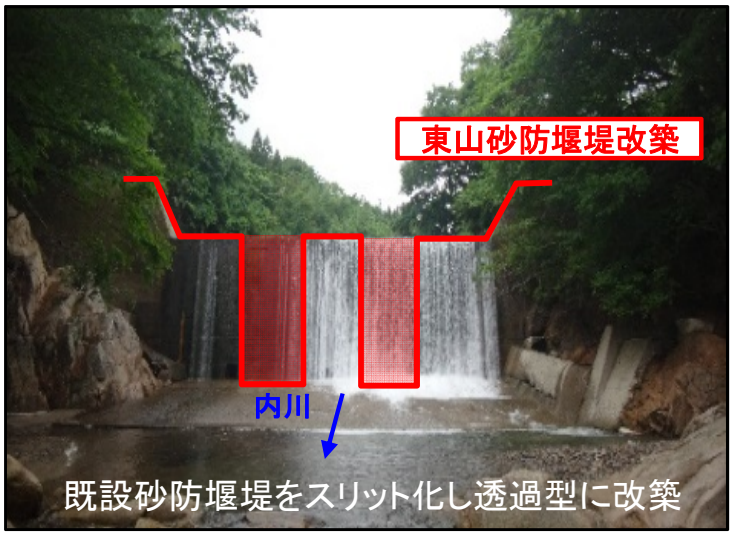


内川流域における土砂・洪水氾濫の発生状況


広範囲にわたり堆積する大量の土砂


堆積土砂により一階部分が埋没

【整備効果】
砂防堰堤の整備により、流域全体における土砂・洪水氾濫による人家やインフラへの直接被害や孤立被害を未然に防止し、地域の安全度を向上します。



既設砂防堰堤をスリット化し透過型に改築



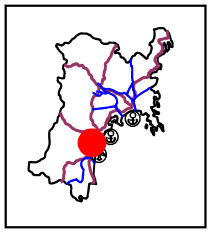
【令和3年度の事業内容】
既設砂防堰堤の改築を実施します。

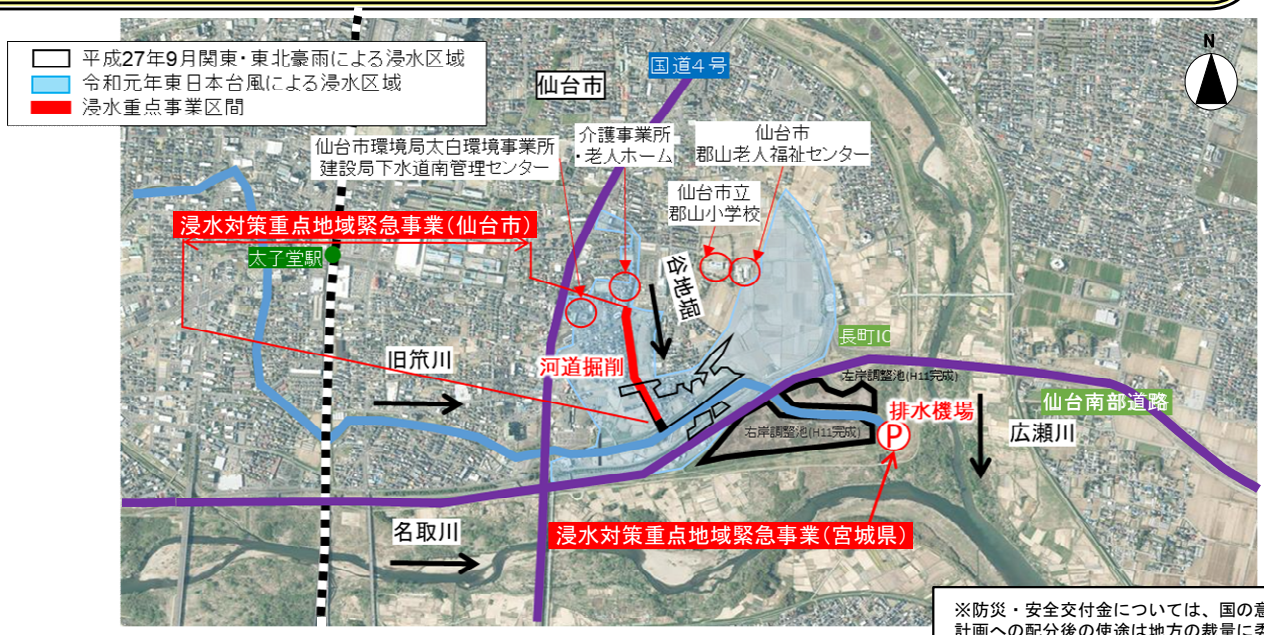
旧笊川・谷地堀浸水対策重点地域緊急事業

R3：310百万円
完成予定：R7

新規	宮城県仙台市	河川	交付金

【事業の概要】
名取川水系旧笊川及び谷地堀では、平成27年関東・東北豪雨及び令和元年東日本台風により、家屋等の甚大な浸水被害が発生しました。このため、浸水対策重点地域緊急事業により排水機場の整備と谷地堀の改修を実施し、地域の安全性の向上を図ります。



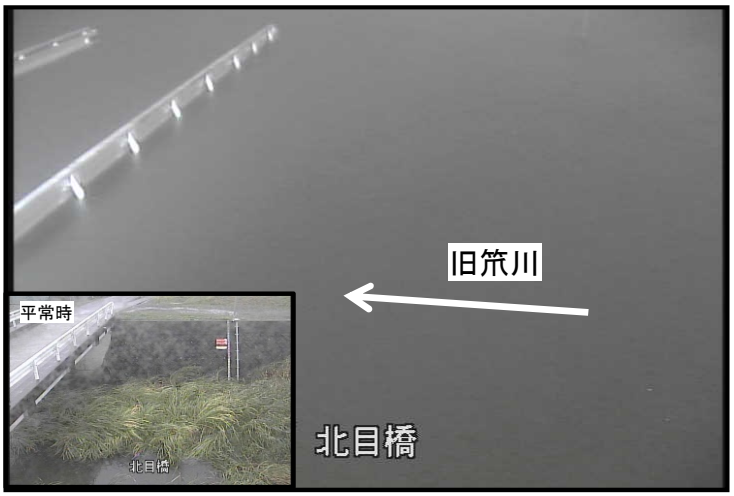


※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の使途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではありません。

【整備効果】
事業実施により、内水氾濫による浸水被害の軽減を図ります。



▲令和元年東日本台風による浸水状況



▲旧笊川からの溢水状況（河川監視カメラ）

【令和3年度の事業内容】
排水機場の詳細設計と谷地堀の改修を実施します。

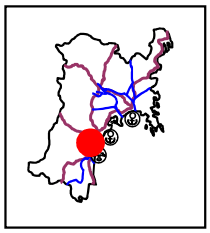
国道4号　仙台拡幅（篭ノ瀬～鹿の又）

R3：100百万円

開通予定：ー

新規	宮城県仙台市	道路	直轄

【事業の概要】
　一般国道4号の仙台市東部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする立体化事業です。





【整備効果】
○交通渋滞の緩和により、速達性が向上します。
○仙台市立病院（三次救急医療機関）への搬送時間の短縮により、救急搬送活動を支援します。



▲国道4号の混雑状況



▲渋滞区間を通過する緊急車両



▲国道4号を通過する緊急搬送ルート

【令和3年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

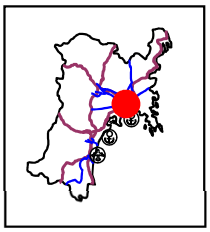
国道108号　石巻河南道路

R3：100百万円

開通予定：ー

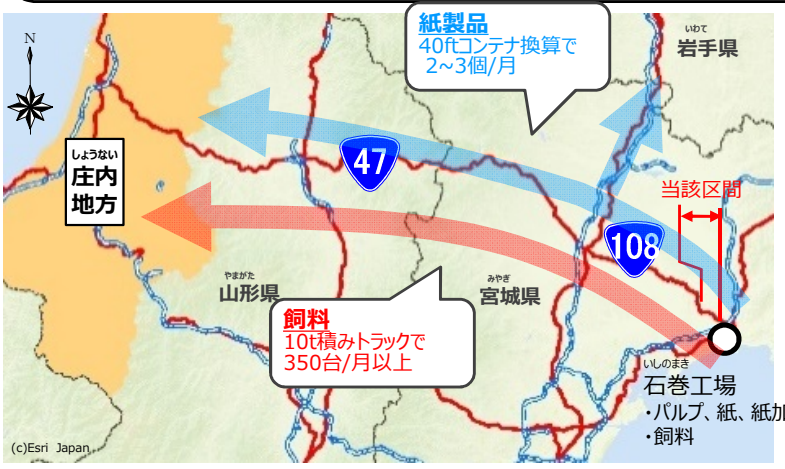
新規	宮城県石巻市	道路	直轄

【事業の概要】
一般国道108号の石巻市蛇田～北村の急カーブや幅員狭小を解消し、円滑な交通の確保を目的とする道路です。





【整備効果】
急カーブや狭小幅員等の道路の課題箇所を解消し、輸送を安定的に支えることにより、地域産業を支援します。



▲国道108号を利用した貨物の流動



▲広渕交差点（直角交差点）大型車通行状況

【令和3年度の事業内容】
調査設計を実施します。

国道6号　宮城6号交通安全対策（神宮寺南交差点改良）

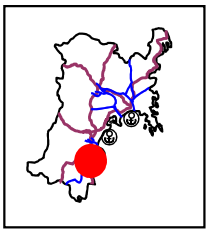
R3：60百万円

完成予定：ー

新規	宮城県亘理郡亘理町	道路	直轄

【事業の概要】

　亘理町中心部付近に位置する当交差点は、右折レーンがないため、直進阻害による追突事故等が多発しています。また、亘理小学校の通学路となっているが、一部歩道狭小箇所もあります。このため、右折レーンの整備や歩道拡幅等を実施します。







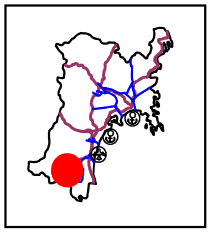
▲交差点の状況

【令和3年度の事業内容】

　改良工事を実施します。

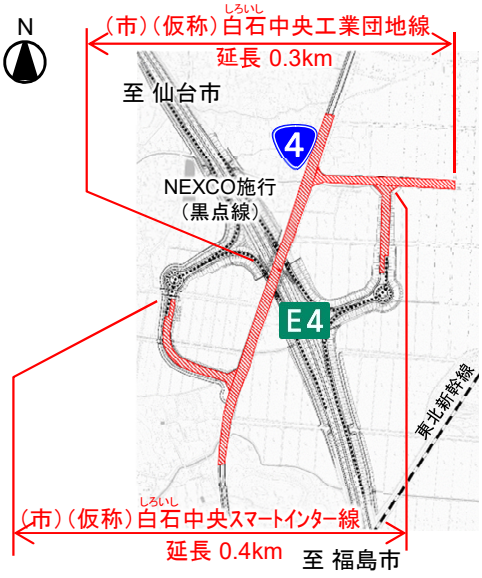
市道(仮称)白石中央スマートインター線 市道(仮称)白石中央工業団地線	(仮称)白石中央スマートICアクセス	R3:76百万円※ 開通予定:ー
新規	宮城県白石市	道路 / 補助

※上記の事業費は、2路線の合計を記載

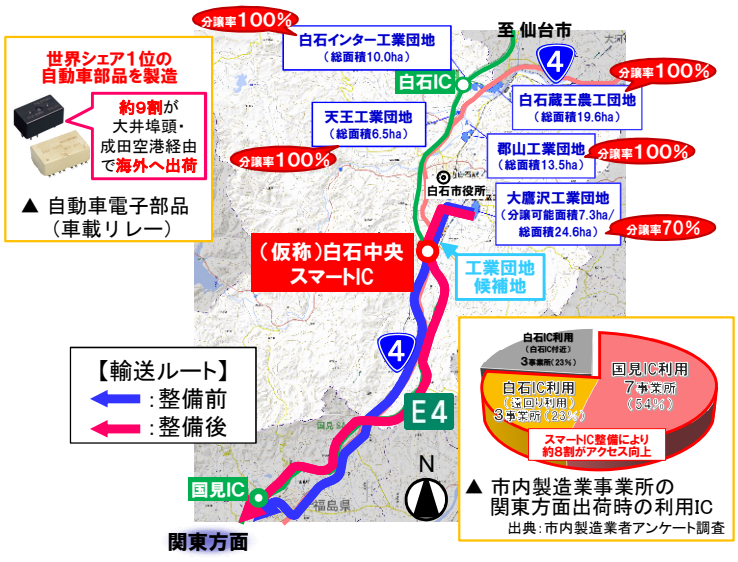


【事業の概要】
（仮称）白石中央スマートICアクセスは、東北自動車道へのアクセス性向上により、基幹産業の支援、および観光産業の活性化等を図る事業です。





【整備効果】
〇東北自動車道へのアクセス性が向上し、物流の効率化を図ることで、白石市の基幹産業である製造業を支援します。
〇新たな周遊観光ルートが形成され、観光産業の活性化が期待されます。



▲ 白石市の工業団地及び製造品の輸送ルート



▲新たな周遊観光ルートイメージ

【令和3年度の事業内容】
調査設計を実施します。

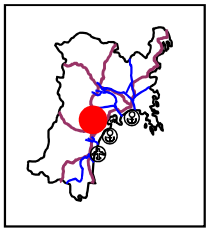
仙台（せんだい）第3地方合同庁舎改修事業

R3： 86百万円

完成予定：R5

新規	宮城県仙台（せんだい）市	営繕	直轄

【事業の概要】
　既存官庁施設において、来訪者等の安全の確保と行政サービスの円滑な提供に必要な施設の性能を確保するため、危険な箇所及び経年劣化が著しい空調機器、配管について改修工事を実施します。







▲仙台第3地方合同庁舎

【整備効果】
　空調設備等の改修により安全で良好な執務環境の確保を図るとともに、空調機器類を高効率化することにより電力消費量を削減します。



▲サビによる配管の劣化状況



▲天井の漏水状況

【令和3年度の事業内容】
　庁舎内の空調配管改修工事を実施します。

米代川（よねしろがわ）　金谷（かねや）地区堤防整備事業

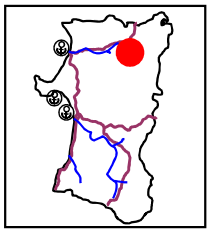
R3：745百万円※

完成予定：ー

新規	秋田県大館（おおだて）市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　堤防の高さが不足し、流下能力が低いことに加え、背後地にJR駅や国道等の重要公共施設、高齢者施設等がある金谷地区において、堤防を整備します。

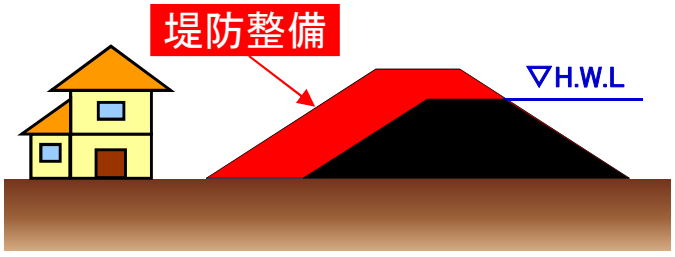


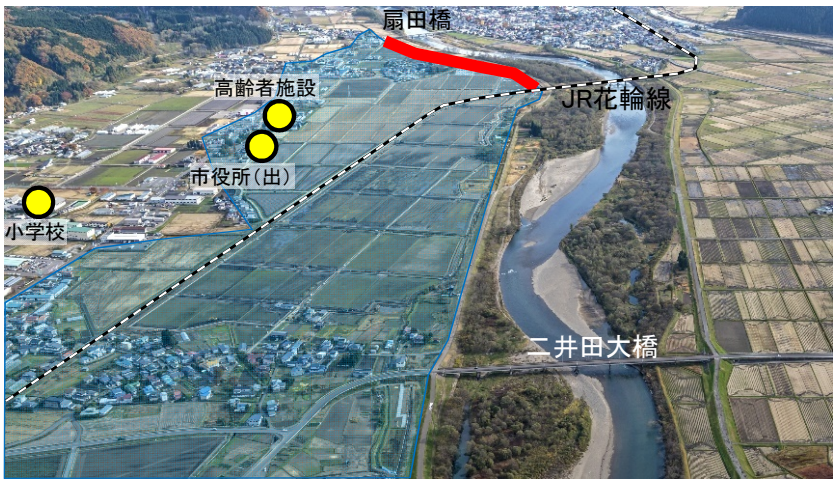


※図の赤着色は、地区全体の事業範囲を示しており、令和3年度の事業範囲のみを示すものではありません。

【整備効果】
　堤防整備により、堤防決壊時に想定される約200戸の家屋やJR駅、国道等の浸水被害を防止します。

堤防整備（イメージ）





【令和3年度の事業内容】
　堤防整備を実施します。

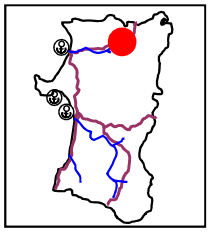
下内川（しもないがわ）大規模特定河川事業

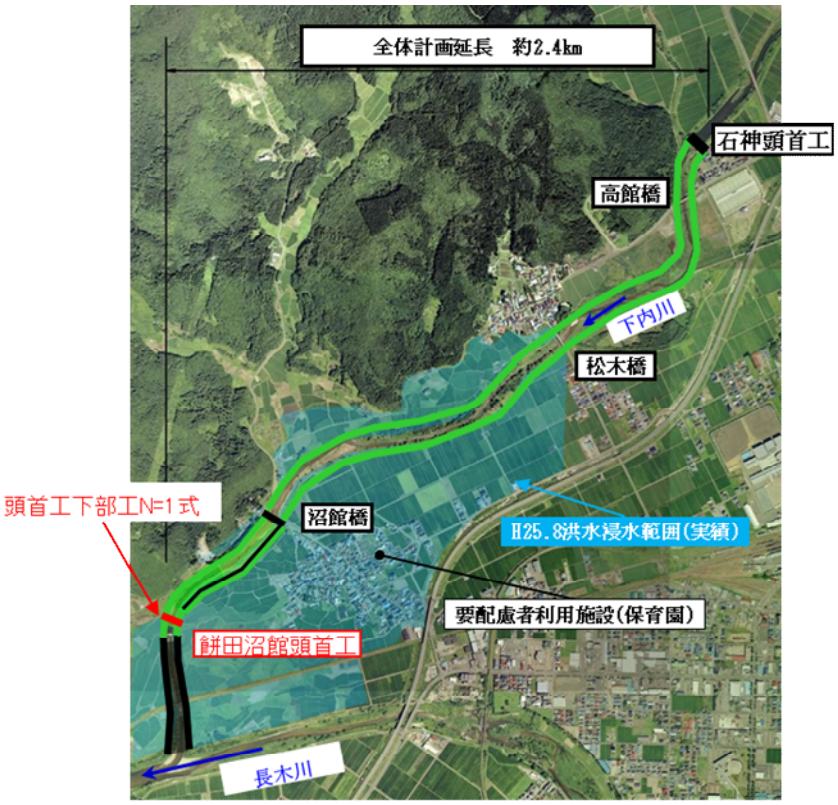
R3：250百万円

完成予定：R10

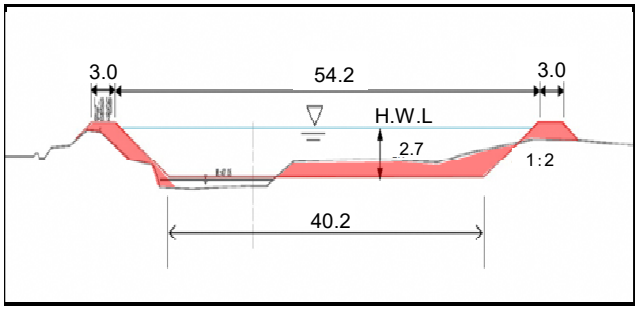
新規	秋田県大館（おおだて）市	河川	補助

【事業の概要】
米代川水系下内川は、平成25年8月の豪雨により、家屋等の甚大な浸水被害が発生しました。このため、大規模特定河川事業により築堤等を実施し、地域の安全性の向上を図ります。





【凡例】
R2当初まで
R3当初
R4以降



▲標準横断図

【整備効果】
事業完了により、平成25年8月の豪雨と同規模の洪水が発生した場合においても、家屋の浸水被害を解消します。



▲平成25年8月の豪雨の浸水状況



▲平成25年8月の豪雨の越水状況

【令和3年度の事業内容】
頭首工の改築等を実施します。

国道105号　大覚野峠防災

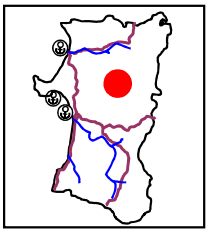
R3：100百万円

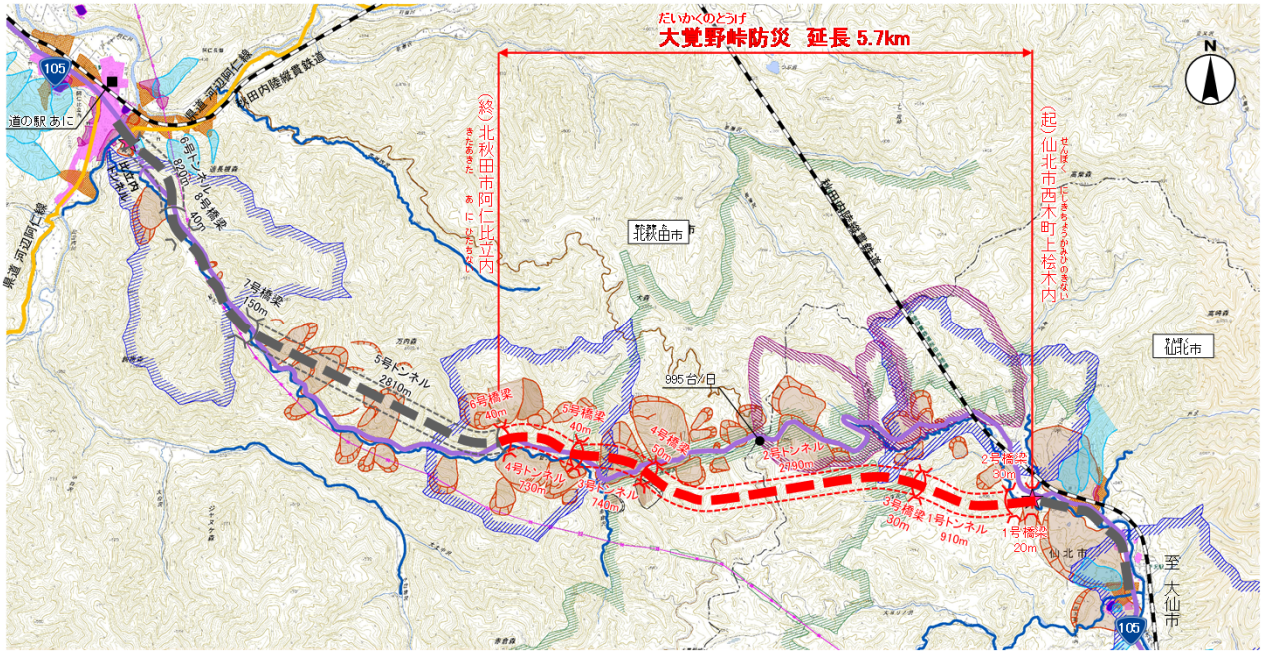
開通予定：ー

新規	秋田県仙北市～北秋田市	道路	直轄

【事業の概要】

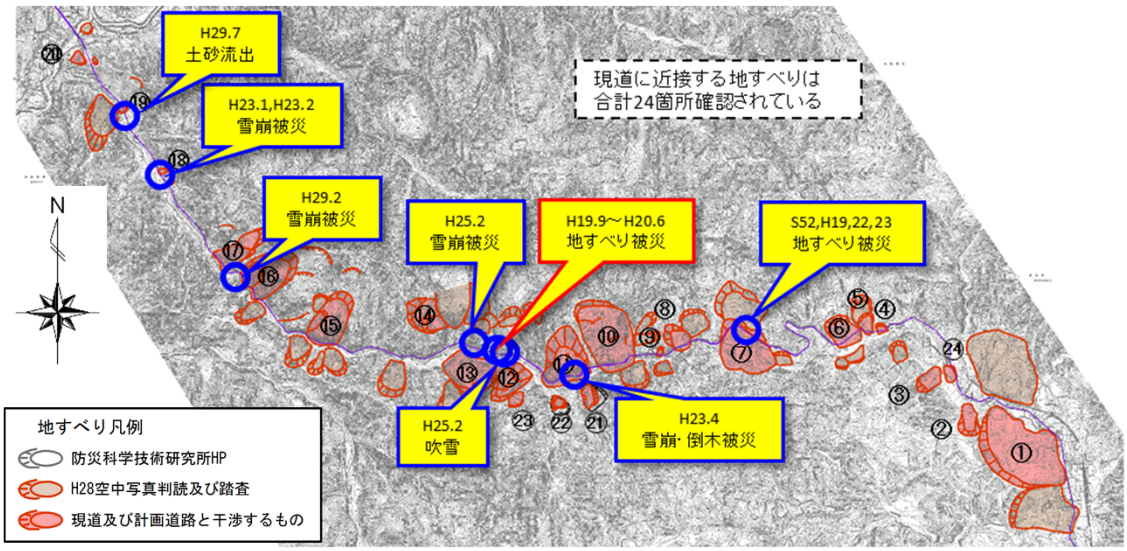
大覚野峠防災は、一般国道105号の仙北市～北秋田市内における地すべりや雪崩・落石等による通行止めに対し、災害に強いネットワークの確保を目的とする防災事業です。





【整備効果】

地すべりや雪崩・落石等の災害に強く、年間を通じた信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



▲過去の災害発生箇所と地すべり地形分布



▲落石被災（H20.5.29）



▲雪崩被災（H29.2.17）

【令和3年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道7号　秋田7号交通安全対策（荷上場（にあげば）地区交差点改良）

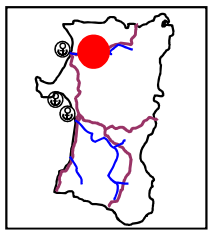
R3：　15百万円

完成予定：ー

新規	秋田県能代（のしろ）市	道路	直轄

【事業の概要】

旧二ツ井町（ふたついまち）の中心部付近に位置する当交差点（高架橋の合流部）は、一時停止となっているため、本線を走行する車両と合流車両の速度差によって追突事故等が多発しています。このため、合流レーンを設置します。







▲交差点（合流部）の状況

【令和3年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道7号　秋田7号電線共同溝（有浦（ありうら）地区）

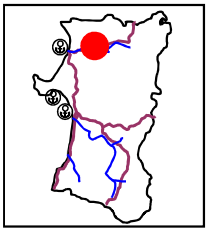
R3：10百万円

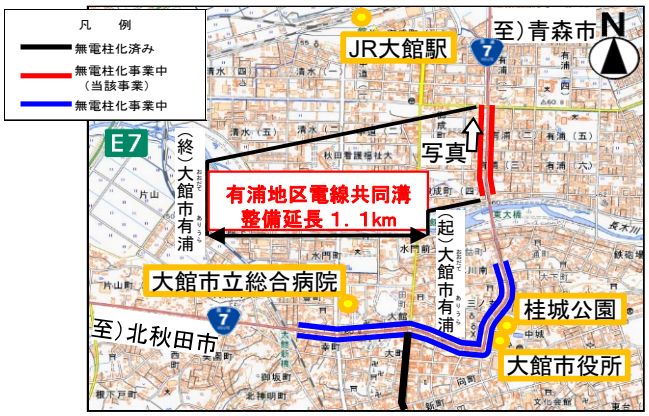
完成予定：　ー

新規	秋田県大館（おおだて）市	道路	直轄

【事業の概要】

有浦地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道７号の電柱状況

【令和3年度の事業内容】

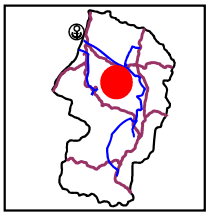
調査設計を実施します。

柳淵(やなぎぶち)特定緊急地すべり対策事業

R3:700百万円
完成予定:R5

新規	山形県最上郡(もがみ)大蔵村(おおくらむら)	河川(砂防)	補助

【事業の概要】
令和2年7月豪雨により地すべり災害が発生した柳淵地区において、早期復旧に向けて緊急的に施設整備を実施し、地域の安全性向上を図ります。



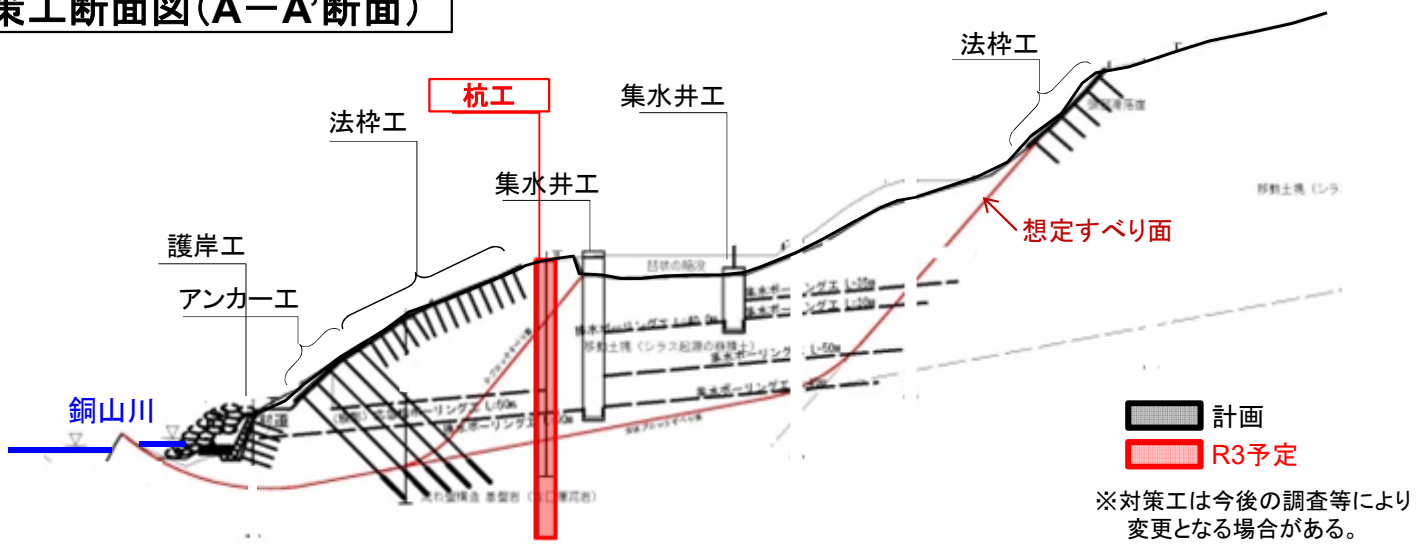






【整備効果】
地すべり対策工事を実施し、一級河川銅山川、電力施設、村道を保全します。

対策工断面図(A－A'断面)



※対策工は今後の調査等により変更となる場合がある。

【令和3年度の事業内容】
地すべり対策工事として抑止のための杭工を実施します。

国道47号　戸沢立川道路

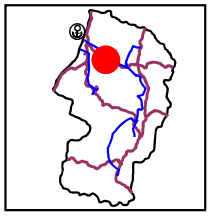
R3：100百万円

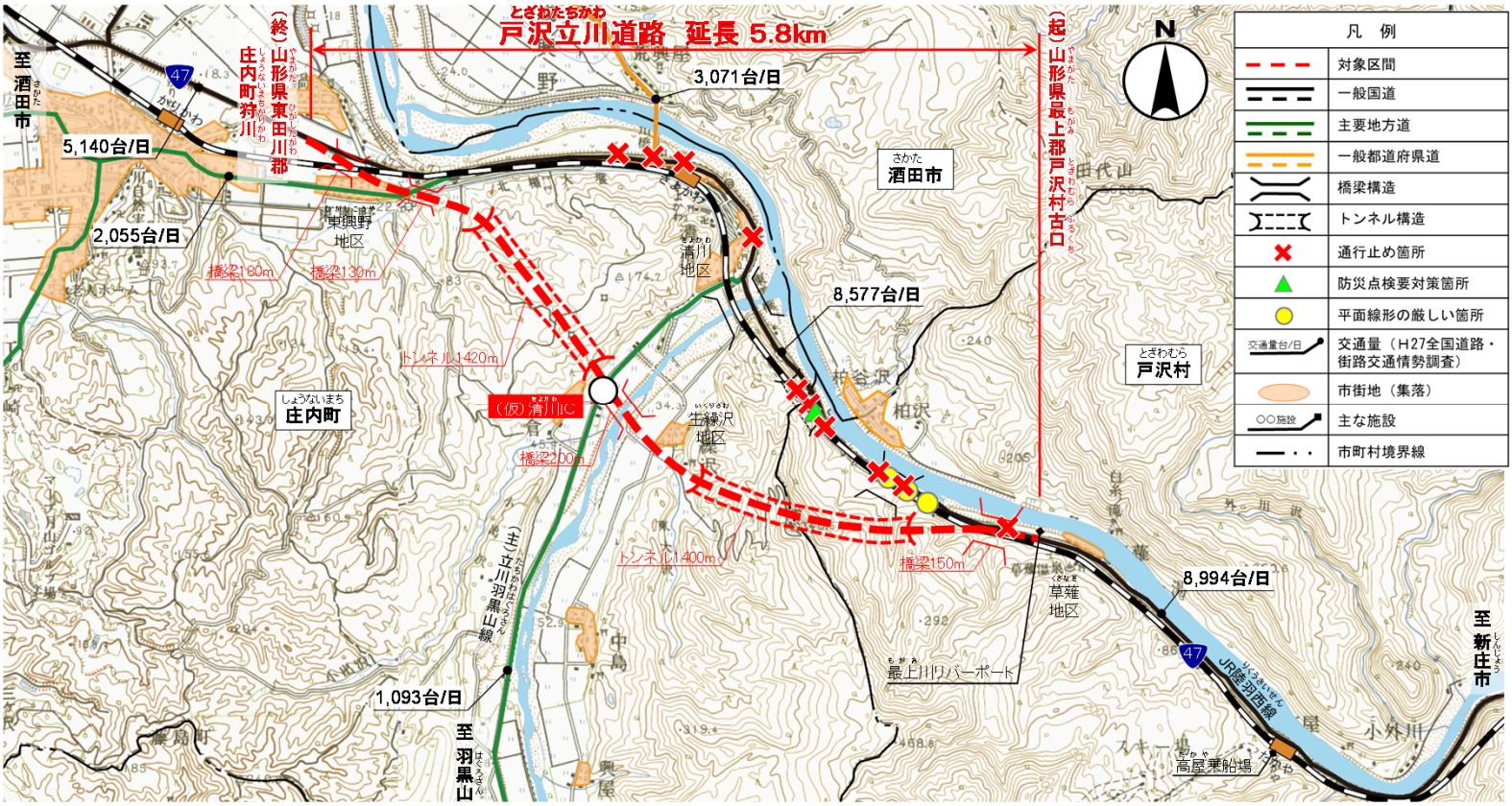
開通予定：ー

新規	山形県最上郡戸沢村～東田川郡庄内町	道路	直轄

【事業の概要】

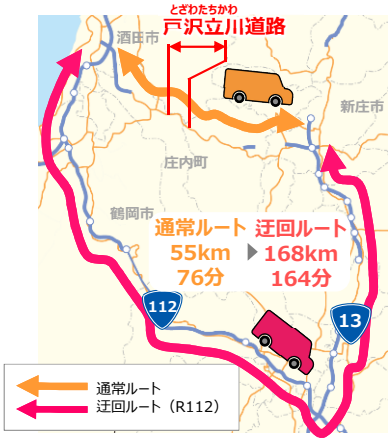
戸沢立川道路は、新庄酒田道路の一部を構成し、一般国道47号の戸沢村～庄内町内の通行止めによる広域迂回の解消を目的とする自動車専用道路です。





【整備効果】

急カーブや狭小幅員等の現道の課題を回避し、通行止めによる広域迂回を解消する信頼性の高い道路ネットワークを確保します。



▲国道47号通行止時の迂回ルート



▲急カーブ、路面凍結状況



▲幅員狭小、堆雪状況

【令和3年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道112号　山形112号交通安全対策（東原町地区事故対策）

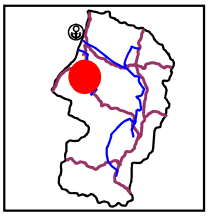
R3：　15百万円

完成予定：ー

新規	山形県鶴岡市	道路	直轄

【事業の概要】

鶴岡市中心部付近の、沿線に商業施設が多数立地する当箇所は、右左折レーン延長の不足によって、直進阻害による追突事故等が多発しています。このため、右左折レーンの延長等を実施します。







▲交差点の状況

【令和3年度の事業内容】

調査設計を実施します。

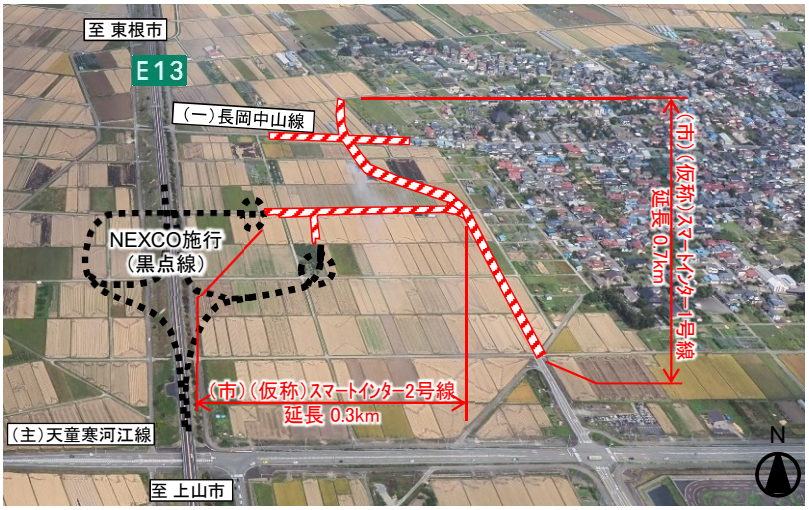
市道(仮称)スマートインター1号線 市道(仮称)スマートインター2号線	(仮称)天童南スマートICアクセス	R3:40百万円※ 開通予定:ー
新規	山形県天童市	道路 / 補助

※上記の事業費は、2路線の合計を記載

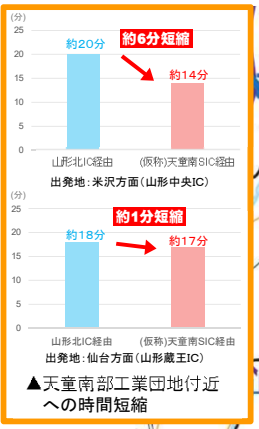
【事業の概要】
（仮称）天童南スマートICアクセスは、東北中央自動車道へのアクセス性向上により、物流の効率化、および観光振興等を図る事業です。







【整備効果】
〇天童南部地域の工業団地から東北中央自動車道へのアクセスが強化され、物流の効率化により、生産性の向上が期待されます。
〇新市街地として整備中の芳賀タウンへのアクセス向上、および周遊観光ルートの形成が実現することにより、定住・交流人口の拡大が期待されます。



▲天童南部地域の輸送ルート



※利用客数は山形県観光者数調査より

▲新たな周遊観光ルート

【令和3年度の事業内容】
調査設計を実施します。

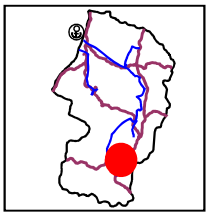
町道(仮称)高畠インター1号線　(仮称)高畠スマートICアクセス

R3：30百万円

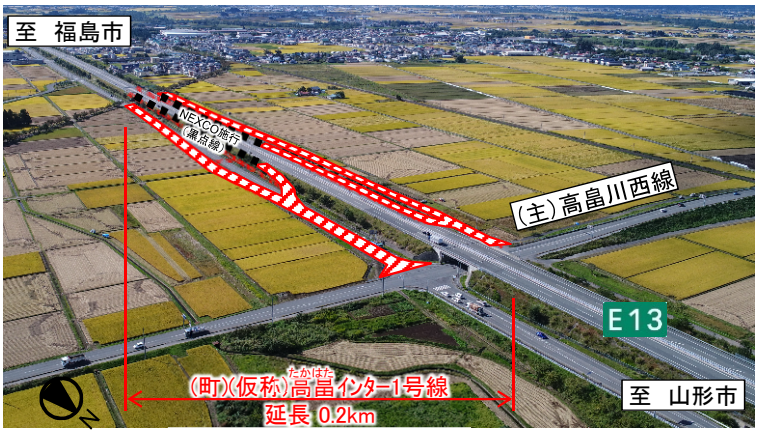
開通予定：ー

新規	山形県東置賜郡高畠町	道路	補助

【事業の概要】
（仮称）高畠スマートICアクセスは、東北中央自動車道へのアクセス性向上により、物流の効率化、および観光振興等を図る事業です。







【整備効果】
〇物流効率化の支援が図られることで、製造業等の生産性向上、企業誘致の促進、および新規雇用の創出が期待されます。
〇観光地へのアクセス性、周遊性が向上することで、交流人口の拡大が期待されます。



▲物流効率化の支援・周遊性向上

【令和3年度の事業内容】
調査設計を実施します。

阿武隈川水系　玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり

R3：131百万円※

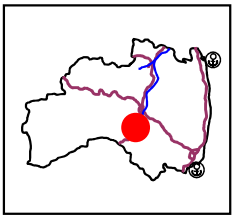
完成予定：R12

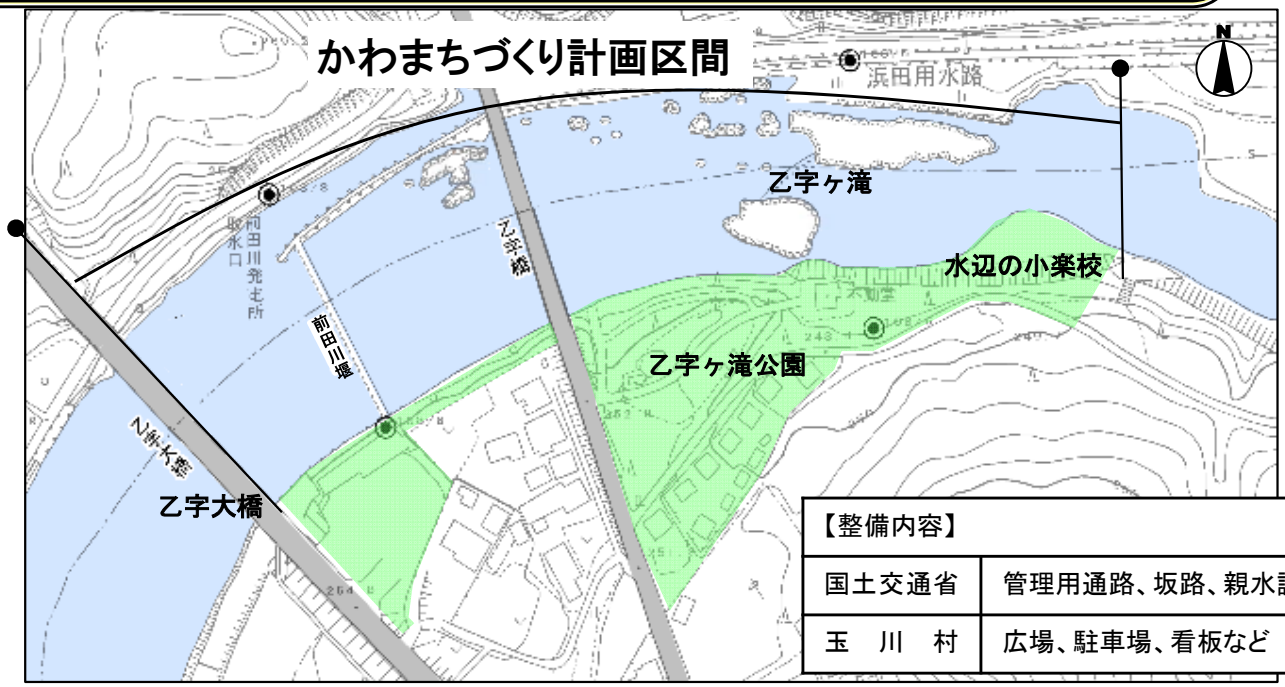
新規	福島県石川郡玉川村	河川	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】

玉川村乙字ヶ滝では、乙字ヶ滝を含めた村内観光拠点の周遊性を高めて、交流人口拡大と観光振興を図るため、親水護岸、管理用通路、坂路等の整備を実施します。





【整備内容】	
国土交通省	管理用通路、坂路、親水護岸など
玉　川　村	広場、駐車場、看板など

【整備効果】

親水護岸等の親水拠点を整備することにより、水辺へのアクセスが容易となる他、日常的な賑わい空間の創出を図り、交流拠点としての活用が期待されます。



▲水辺空間の整備イメージ



▲利活用状況（カヌー体験）

【令和3年度の事業内容】

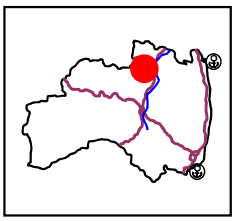
施設設計を実施します。

佐久間川大規模特定河川事業

R3：250百万円
完成予定：R6

新規	福島県伊達郡桑折町	河川	補助

【事業の概要】
阿武隈川水系佐久間川は、令和元年東日本台風により、家屋等の甚大な浸水被害が発生しました。このため、大規模特定河川事業により築堤等を実施し、地域の安全性の向上を図ります。





【整備効果】
事業完了により、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合においても、家屋の浸水被害を解消します。



▲令和元年東日本台風の浸水状況



▲令和元年東日本台風の破堤状況

【令和3年度の事業内容】
築堤、橋梁架替を実施します。

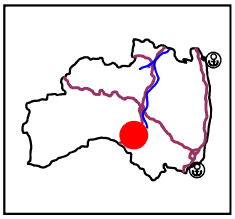
国道4号　矢吹鏡石道路

R3：100百万円

開通予定：ー

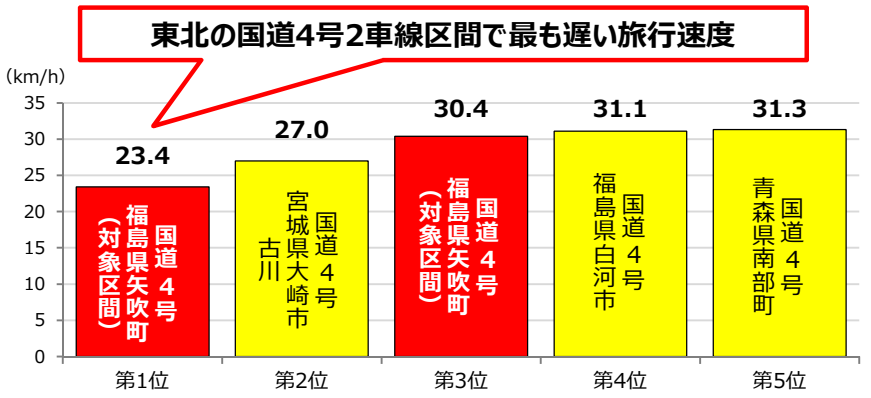
新規	福島県西白河郡矢吹町～岩瀬郡鏡石町	道路	直轄

【事業の概要】
　一般国道4号の西白河郡矢吹町～岩瀬郡鏡石町の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする4車線拡幅事業です。





【整備効果】
　交通渋滞の緩和により、速達性が向上します。



出典：全国道路・街路交通情勢調査（H27）
※東北地方国道4号2車線区間混雑区間における12時間平均（事業中区間除く）

▲旅行速度ワースト5位



▲大型車交通の集中

【令和3年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

国道6号　福島6号交通安全対策（双葉地区事故対策）

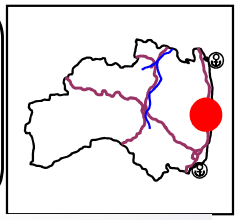
R3：　15百万円

完成予定：ー

新規	福島県双葉郡双葉町	道路	直轄

【事業の概要】

双葉町郊外の北部に位置する当箇所は、震災後に大型車が増加し、速度低下による追突事故等が多発しています。このため、付加車線の設置等を実施します。







▲国道6号の交通状況

【令和3年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道13号　福島13号交通安全対策（北矢野目交差点改良）

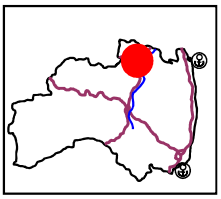
R3：　14百万円

完成予定：ー

新規	福島県福島市	道路	直轄

【事業の概要】

福島中心部付近に位置する当交差点は、交差点面積が大きく、交差点内で動線が錯綜し、多様な事故が発生しています。このため、交差点のコンパクト化を実施します。







▲交差点の状況

【令和3年度の事業内容】

調査設計を実施します。

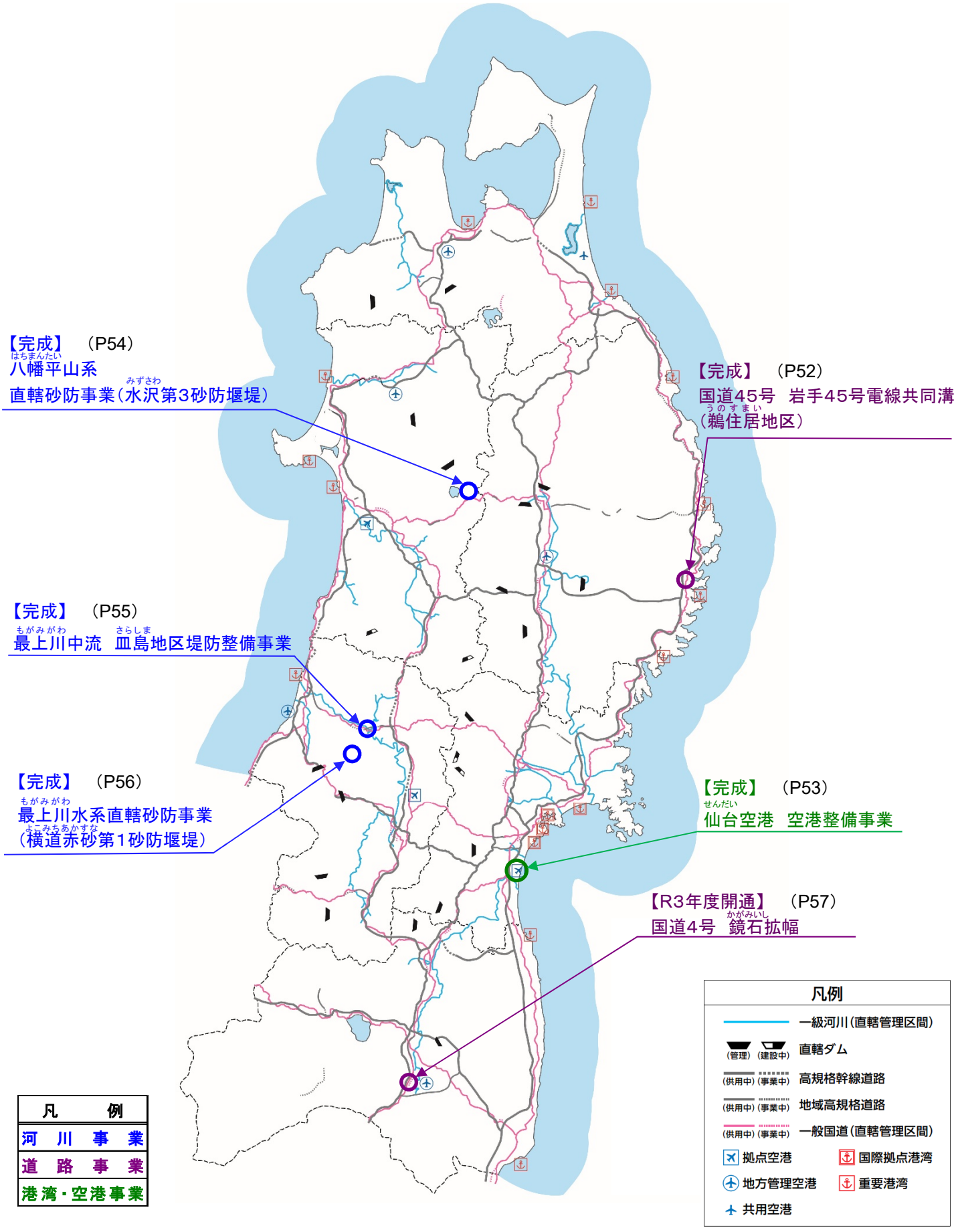
6. 令和3年度 完成・開通予定箇所

【主な完成・開通予定箇所】

事業区分		事業名	県名	市町村名	R3事業費（百万円）	R3事業内容	備考
道路	直轄	国道45号　岩手45号電線共同溝（鵜住居地区）	岩手県	釜石市	150	調査設計、支障物移設 引込連系管路・ 連系設備工事	P52
空港	直轄	仙台空港 空港整備事業	宮城県	名取市 岩沼市	578	滑走路・誘導路改良	P53
河川（砂防）	直轄	八幡平山系 直轄砂防事業（水沢第3砂防堰堤）	秋田県	仙北市	（　722　）	砂防堰堤工	P54
河川	直轄	最上川中流　皿島地区堤防整備事業	山形県	戸沢村	（　512　）	堤防整備（輪中堤）	P55
河川（砂防）	直轄	最上川水系 直轄砂防事業（横道赤砂第1砂防堰堤）	山形県	大蔵村	（　2,325　）	砂防堰堤工	P56
道路	直轄	国道4号　鏡石拡幅	福島県	鏡石町	388	全線4車線開通 調査設計 改良・舗装工事	P57

・上記以外の令和3年度内完成・開通予定箇所（令和2年度予算）
　道路　直轄　国道45号三陸沿岸道路（田野畑南～尾肝要）　（岩手県下閉伊郡田野畑村）
　道路　直轄　国道45号三陸沿岸道路（普代～野田、野田～久慈）　（岩手県下閉伊郡普代村～久慈市）
　河川　直轄　北上川下流　東日本大震災復興事業　（宮城県石巻市）
　道路　直轄　国道115号相馬福島道路（霊山～伊達桑折）　（福島県伊達市～伊達郡桑折町）
・事業費の（　）の金額は、以下河川・水系・山系単位の全体額
　最上川中流、八幡平山系（秋田県）、最上川水系
・道路事業のうち電線共同溝事業については、主な箇所を掲載

【主な完成・開通予定事業位置図】



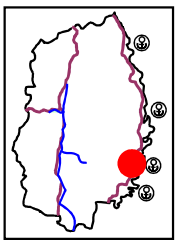
国道45号　岩手45号電線共同溝（鵜住居地区）

R3：150百万円

完成	岩手県釜石市	道路	直轄

【事業の概要】

鵜住居地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道４５号の電柱状況

【令和3年度の事業内容】

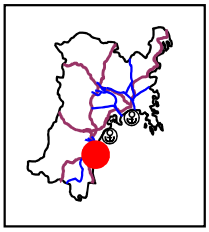
支障物移設、引込連系管路・連系設備工事等を実施します。

仙台空港（せんだい）　空港整備事業

R3：578百万円

完成	宮城県名取（なとり）市、岩沼（いわぬま）市	空港	直轄

【事業の概要】
　B滑走路及び誘導路の耐震対策により、大規模地震発生時における空港機能の維持及び航空機の安全な運航を確保することを目的とした事業です。





【整備効果】
　耐震対策（地盤改良）により、大規模地震発生時においても航空ネットワークの維持や背後圏経済活動の持続性確保が可能となります。



▲ 地盤改良の状況

【整備前】
耐震未対策のため、
舗装の沈下が発生

【整備後】
耐震対策済のため、
舗装の損傷を防止



▲ 地盤改良の効果

【令和3年度の事業内容】
　B滑走路及び誘導路の耐震対策を実施し、事業を完成させます。

八幡平山系直轄砂防事業（水沢第3砂防堰堤）

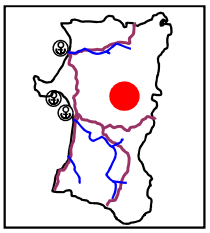
R3：722百万円※

完成	秋田県仙北市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体（秋田県）の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】

秋田駒ヶ岳において、大量の不安定土砂の流出及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流などの、大規模な土砂災害被害を軽減します。







【整備効果】

水沢第3砂防堰堤の完成により、土砂流出を防止・抑制し、下流域における土砂・洪水氾濫等の防止を図ります。







▲水沢第3砂防堰堤整備イメージ

【令和3年度の事業内容】

砂防堰堤の整備を実施し、当該堰堤を完成させます。

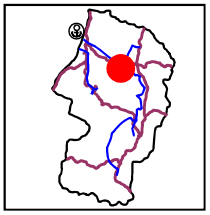
最上川中流　皿島地区堤防整備事業

R3:512百万円※

完成	山形県最上郡戸沢村	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
堤防が無く、近年頻繁に浸水被害を受けてきた皿島地区において、堤防整備（輪中堤）を実施します。

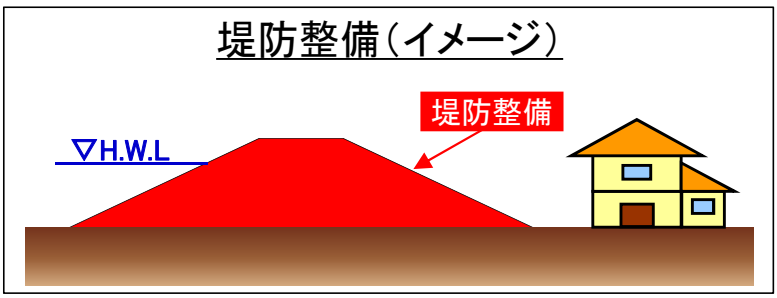




※図の赤着色は、地区全体の事業範囲を示しており、令和3年度の事業範囲のみを示すものではありません。

【整備効果】
堤防整備（輪中堤）により、河川の氾濫による家屋の浸水被害を防止します。





【令和3年度の事業内容】
堤防整備（輪中堤）を実施し、事業を完成させます。

最上川水系直轄砂防事業（横道赤砂第１砂防堰堤）

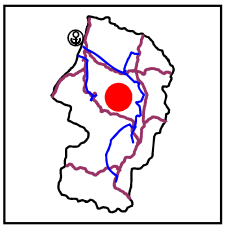
R3：2,325百万円※

完成	山形県最上郡大蔵村	河川（砂防）	直轄

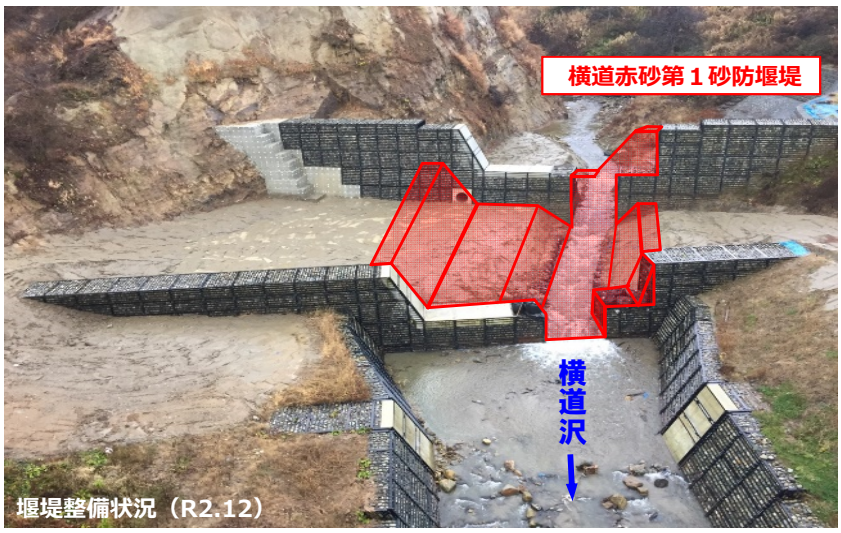
※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】

豊牧地すべりの末端に位置する横道沢は、地盤の変動が大きいため、既存砂防堰堤の損傷も著しく、また、渓流上流には多くの不安定土砂があることから、砂防堰堤整備により早期に地域の安全性向上を図ります。







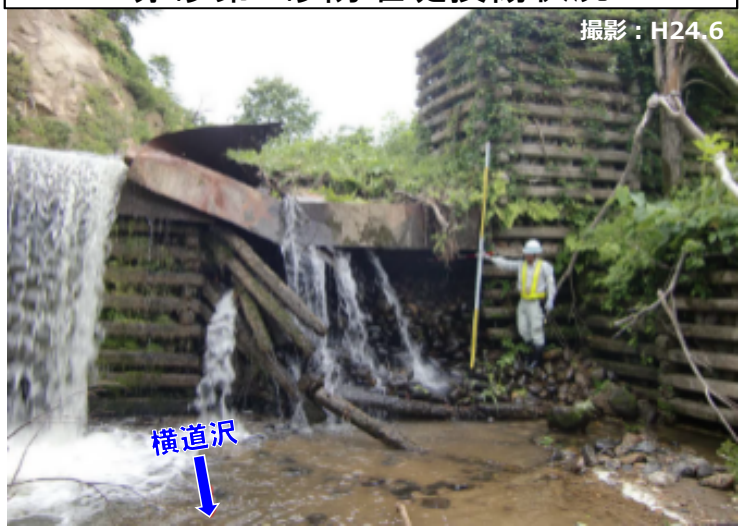
【整備効果】

横道赤砂第1砂防堰堤の完成により、土砂の流出を防止・抑制し、下流域における土砂・洪水氾濫等の防止を図ります。

横道沢の斜面崩壊状況



赤砂第1砂防堰堤損傷状況



【令和3年度の事業内容】

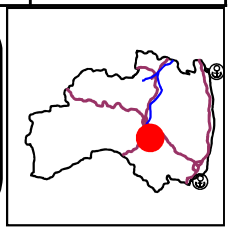
砂防堰堤の整備を継続し、当該堰堤を完成させます。

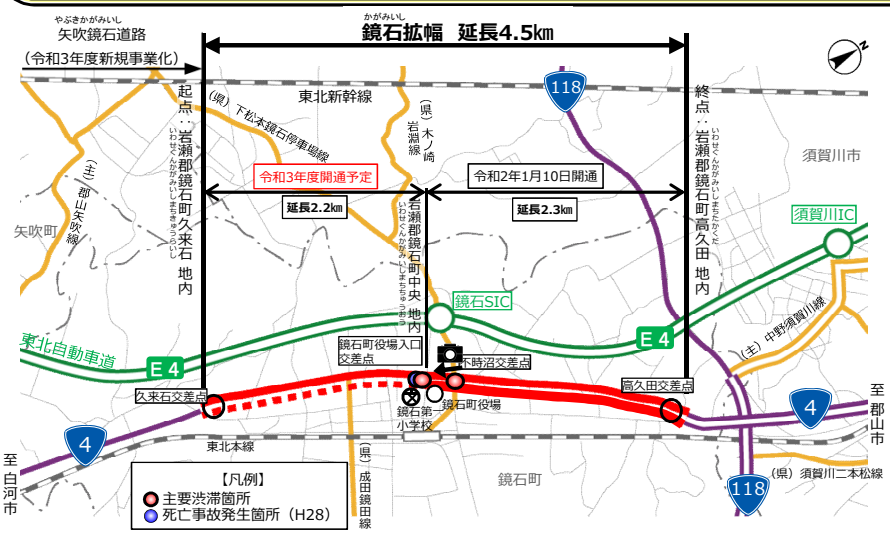
国道4号　鏡石（かがみいし）拡幅

R3：388百万円

開通	福島県岩瀬郡（いわせ）鏡石町（かがみいしまち）	道路	直轄

【事業の概要】
　国道4号　鏡石拡幅は、国道4号の交通混雑の解消や、安全な交通と良好な環境の確保等を目的とした4車線拡幅事業です。

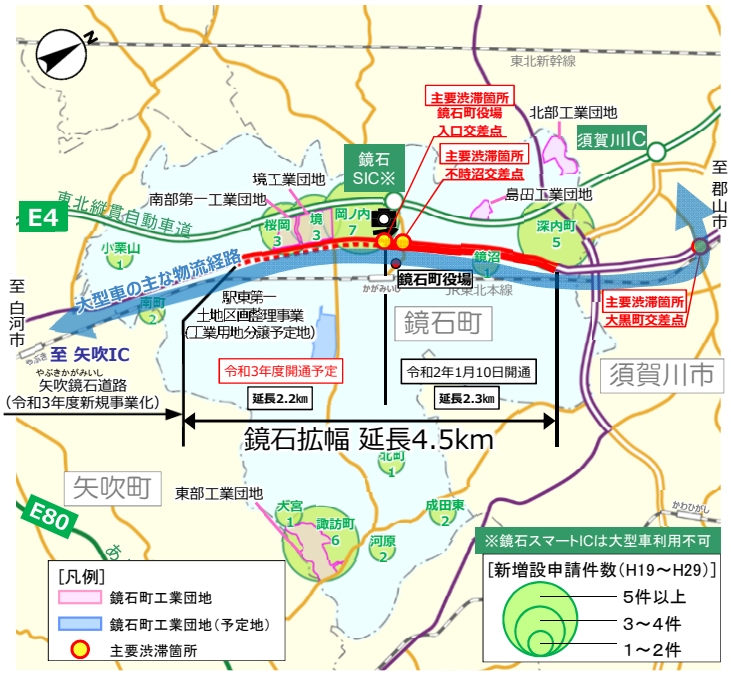






▲鏡石拡幅　事業区間

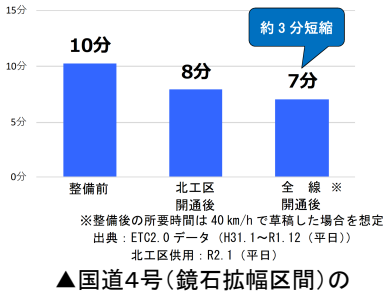
【整備効果】
〇国道4号の交通混雑の解消や安定的な交通流動の確保が期待されます。
〇企業立地の促進、物流の効率化等、企業活動を支援します。



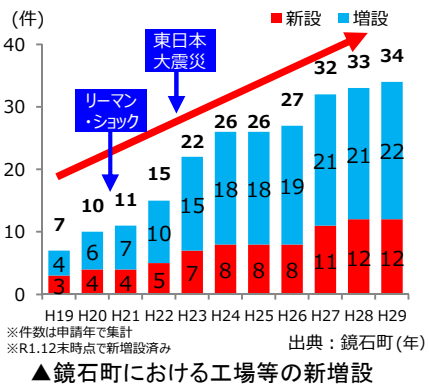
▲鏡石町における新増設申請件数（H19-H29）



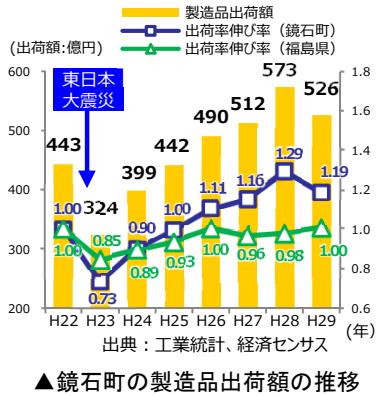
▲国道4号（鏡石拡幅区間）の渋滞状況



▲国道4号（鏡石拡幅区間）の通過時間（平日・7時台）



▲鏡石町における工場等の新増設件数※の推移（累計値）



▲鏡石町の製造品出荷額の推移

【令和3年度の事業内容】
　舗装工事等を実施し、全線4車線にて開通します。